

公立大学法人広島市立大学の概要

平成 2 8 年 6 月
公立大学法人
広島市立大学

目 次

項 目

ページ

1 大学の概要

(1) 建学の基本理念	1
(2) 沿革	1
(3) 運営組織	(平成28年4月1日時点)	2
(4) 学部、大学院、附置研究所の概要	(平成28年4月1日時点)	3
(5) 附属施設の概要(概要)	(平成28年4月1日時点)	7
	(利用状況) (平成27年度)	7
(6) 施設	(平成28年4月1日時点)	9
(7) 学年暦	(平成28年度)	11
(8) 教職員数(平成28年度)	(平成28年5月1日時点)	12
	(平成27年度) (平成27年5月1日時点)	13
(9) 学生数	(平成28年5月1日時点)	14
(10) 研究生・留学生等	(平成27年度)	14
(11) 入学検定料、入学料、授業料等	(平成28年4月1日時点)	15

2 教育・研究

(1) 人材育成の目標及び各ポリシー	16
(2) 特色ある講義科目	(平成28年度)	27
(3) 外部資金の獲得状況	(平成23年度～27年度)	29
(4) 科学研究費補助金の内訳	(平成27年度)	30
(5) 研究開発費助成制度等の採択状況	(平成21年度～27年度)	35
(6) FD・SD活動実施状況	(平成27年度)	39

3 入学試験

(1) 入学試験の概要(学部)	(平成29年度入試)	41
	(大学院) (平成29年度入試)	42
(2) 入学試験実施状況	(平成28年度入試)	43
(3) 年次別競争率等	(平成19年度～28年度入試)	45
(4) 入学者の状況(出身都道府県別内訳(学部))	(平成24年度～28年度)	46
(5) 社会人入試(大学院)の状況(募集人員等)	(平成29年度入試)	47
	(入学者数) (平成23年度～27年度)	47

4 学生生活

(1) 学生の受賞状況	(平成27年度)	48
-------------	----------------	----

目 次

項 目

ページ

5 就職

(1) 就職・進学等			
ア 学部別の状況	(平成27年度)	51
イ 就職率の推移	(平成9年度～27年度)	52
(2) 就職先の構成比			
ア 業種別	(平成27年度卒)	53
イ 地域別	(平成27年度卒)	54
(3) 就職先企業等一覧	(平成27年度)	55

6 社会連携

(1) 産学官連携			
ア 推進体制	(平成28年4月1日時点)	58
イ 研究・事業等の実施状況	(平成19年度～27年度)	58
(2) 地域連携			
ア 公開講座	(平成27年度)	61
イ その他の事業	(平成27年度)	68
ウ 広島市等の審議会委員等の就任状況	(平成27年度)	69
(3) 高大連携			
ア 教育ネットワーク中国における高大連携	(平成27年度)	73
イ 広島市教育委員会との高大連携講座	(平成27年度)	73
ウ 高校での模擬授業の開催	(平成27年度)	74
(4) その他の連携	(平成28年4月1日時点)	75

7 国際交流

(1) 海外学術交流協定校	(平成28年4月1日時点)	77
(2) 学生交流に関する覚書締結校	(平成28年4月1日時点)	77
(3) 国際交流事業実績	(平成27年度)	77

1 大学の概要

(1) 建学の基本理念

「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」

(2) 沿革

- 平成元年11月 広島市立大学（仮称）設立準備委員会の設置
- 平成3年7月 「広島市立大学（仮称）基本構想」策定
- 平成4年11月 校舎建設工事起工式
- 平成5年12月 文部省設置認可
- 平成6年4月 開学
- 平成8年10月 講堂完成
- 平成10年4月 大学院博士前期課程開設。広島平和研究所を設置
- 平成12年3月 情報科学部棟別館完成
- 平成12年4月 大学院博士後期課程開設
- 平成15年3月 大学院芸術学研究科博士後期課程で最初の博士学位授与
- 平成15年4月 情報科学部情報数理学科、大学院情報科学研究科博士前期課程情報数理学専攻を、それぞれ情報メディア工学科、情報メディア工学専攻に名称変更
- 平成19年4月 情報科学部を情報メディア工学科、情報工学科、知能情報システム工学科、情報機械システム工学科の4学科から情報工学科、知能工学科、システム工学科の3学科に再編（平成19年度入学生より）
大学院情報科学研究科博士前期課程を情報メディア工学専攻、情報工学専攻、知能情報システム工学専攻、情報機械システム工学専攻から情報工学専攻、知能工学専攻、システム工学専攻、創造科学専攻に再編（平成19年度入学生より）
- 平成19年7月 社会連携センターを設置
- 平成22年4月 「広島市」から「公立大学法人広島市立大学」に設置者変更
- 平成24年4月 情報科学部を情報工学科、知能工学科、システム工学科の3学科から情報工学科、知能工学科、システム工学科、医用情報科学科の4学科に再編（平成24年度入学生より）
- 平成25年4月 大学院芸術学研究科博士前期課程を絵画専攻、彫刻専攻、造形計画専攻の3専攻から、造形芸術専攻の1専攻に再編（平成25年度入学生より）
国際交流推進センターを設置
- 平成25年10月 サテライトキャンパスを開設
- 平成26年4月 キャリアセンターを設置
- 平成28年4月 大学院情報科学研究科博士前期課程創造科学専攻を医用情報科学専攻に名称変更（平成28年度入学生より）

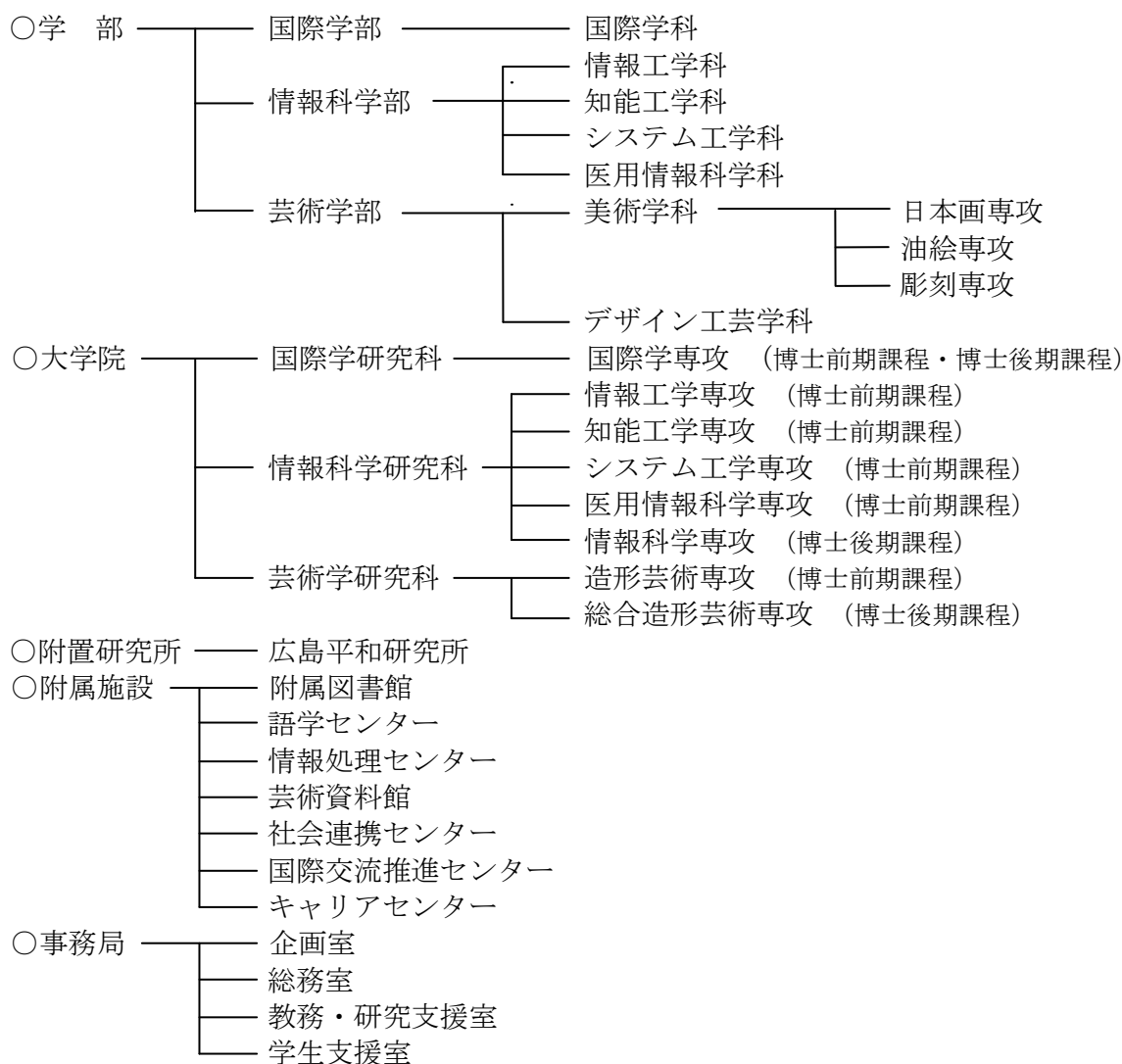
(3) 運営組織（平成 28 年 4 月 1 日時点）

ア 公立大学法人広島市立大学の概要

- ・ 所在地
広島市安佐南区大塚東三丁目 4 番 1 号
- ・ 設立年月日
平成 22 年 4 月 1 日
- ・ 資本金
155 億 1,019 万 1,000 円
(広島市出資額 155 億 1,019 万 1,000 円 出資割合 100%)
- ・ 役員

役職名	氏名	備考
理事長	青木 信之	学長
理事（企画・戦略担当）	若林 真一	副学長（企画・戦略担当）
理事（教育・研究担当）	前川 義春	副学長（教育・研究担当）
理事（総務・危機管理担当）	塩田 芳丈	事務局長
理事（非常勤）	今中 亘	元(株)中国新聞社社長
理事（非常勤）	牟田 泰三	元広島大学学長
監事（非常勤）	津村 健太郎	弁護士
監事（非常勤）	佐上 芳春	公認会計士

イ 構成図



(4) 学部、大学院、附置研究所の概要（平成28年4月1日時点）

ア 学部／大学院

(7) 国際学部／大学院国際学研究科

a 教育方針

(a) 国際学部：

国際学部は、異質で多様な知識を、単なる情報としてではなく、問題の解決に役立つべく統合された新しい知として身につけ、世界各地の違いのあり方を尊重し、共生の必要性を理解できる国際的な感覚を備えた人材を育成することを目的としている。真の国際人を目指し、5つのプログラム（「国際政治・平和」、「公共政策・NPO」、「多文化共生」、「言語・コミュニケーション」、「国際ビジネス」）を柱とした学際的なカリキュラムを設け、学生の関心や将来目的に応じた多様な履修形態を可能にするとともに、学生同士や教員としっかりとした議論ができるように、少人数による演習科目を重視している。

(b) 大学院国際学研究科：

博士前期課程においては、国際研究の先導的な役割を担うとともに、国際社会の問題点や課題を自ら発見し、解決できる実践的な真の国際人の養成と、高度で先端的な国際研究に携わることのできる教育・研究者の育成を目指している。

博士後期課程においては、新しい時代の要請に応じて、国際社会の文化、政治、経済、教育、科学、産業等、様々な分野において指導的役割を果たしうる高度な専門職業人及び高度で先端的な学際的研究に携わる能力を備えた教育・研究者の育成を目指している。

b 研究活動状況

学際的な学術研究やコロキウム形式による国際的な研究交流活動などを行っている。その研究成果を学術書の公刊や国内外の学会、シンポジウム等において研究発表するとともに、公開講演会、公開講座を通して地域社会への還元を行っている。

また、平成14年度より、本学部教員が独自に開発したコンピュータ・ネットワークによる英語集中教育プログラム（※注）を正規の英語科目として導入したほか、本プログラムを本市の生涯学習施設が主催するリカレント教育事業の一環として取り入れるとともに、公民館等でも市民向けの講座を開催している。

※注：英語の語学力のうち、主に「聞く」「読む」の2技能をより高い水準に向上させることを目的に、コンピュータ・ネットワークを利用して英語学習を実施するもので、将来的にはインターネットによる受講により市民を対象とした在宅での英語の授業実施を目指している。

(1) 情報科学部／大学院情報科学研究科

a 教育方針

(a) 情報科学部：

情報科学を統合する視点に立って、理論的な基礎や情報メディアからコンピュータ、人工知能、ヒューマンインタフェース及びこれらを統合したロボットなどの各種システムに至るまで、幅広く情報科学に関する専門的な教育研究を行っている。

また、高速なキャンパス情報ネットワークと多数のコンピュータを活用し、電子メールや掲示板などによる学生相互の情報交換やレポート提出、インターネット上に公開されている情報の調査や調査研究結果の公表など、知的生産のためにコンピュータを道具として有効活用できる人材を育成している。

さらに、21世紀の知的社会で、問題解決ができる人材を育成するため、実践、実習、演習、口頭発表などの体験的・総合的学習を重視した教育プログラムや、論理的思考の訓練や発表・表現の手段としての言語（日本語、英語及びコンピュータ言語など）の教育訓練プログラムを実施している。

(b) 大学院情報科学研究科：

博士前期課程においては、情報科学に関する学理の探求と科学技術の発展を推進するとともに、情報科学に関する研究開発を担う研究者及び高度専門技術者を養成することを目的とし、①コンピュータとネットワークの要素技術の研究とその応用、そして次世代のコンピュータ&ネットワークを創生する能力 ②知識基盤社会におけるさまざまな形態のコミュニケーションに対応する知識情報処理およびシステム化する能力 ③人間、コンピュータ、機械が有機的に結合した人にやさしい高機能システムの開発・実現能力 ④情報科学、物理学、化学、生物学の融合から、時代の変化に柔軟に対応した「ものづくり」新領域の創生能力 ⑤自主プロジェクト演習を通し、自ら独創的研究を計画推進できる実践能力を養うとともに、独立して専門的ないし学際的研究を行える総合的な分析力、企画力、判断力さらに国際的視野を身につけた人材の養成を行っている。

博士後期課程においては、新しい時代の要請に応え、高度研究開発能力の育成・向上と実践的課題解決能力の育成を目的とし、①高度な専門知識と幅広い識見、実践力を持つ研究者・技術者 ②先端的な科学技術に柔軟に対応し、均衡のとれた学識と感性をもって後進を指導できる教育者 ③高度な科学技術を広く社会に還元し、地域の活性化に資する人材 ④自主的課題発掘能力、実践的課題解決能力、高度な研究開発能力を備えた人材の養成を行っている。

b 研究活動状況

多岐にわたる情報科学の研究分野において、高度で先端的な学術研究を行っており、特に他大学・企業との人的交流、受託研究、共同研究を実施しながら多様かつ柔軟な研究活動を実施している。

産学官連携への取り組みも積極的に実施しており、本学の産学官連携推進活動の中核として、多様な研究活動を推進しているほか、地域産業界を対象とした研究公開など、積極的な情報発信を行っている。

(ウ) 芸術学部／大学院芸術学研究科

a 教育方針

(a) 芸術学部：

創作活動の基本となる基礎実技をしっかりと習得し、多様な技術を総合的に学んだ上で、地域社会や国際社会でもアートを通じて活躍できる能力を育むことを目指している。

このため、自己の表現を追求する創作活動を続けていくために必要な観察力と造形力を養う基礎実技の習得を重視した教育を行うとともに、独自の表現方法と出会えるよう過去から現在に至る様々な分野の素材や技術を学ぶことができる多角的かつ総合的な教育を行っている。また、地域社会との連携や海外との学術交流などを通して、芸術の社会的な役割を学び、社会の中で表現活動を行う実践的な機会を提供している。

さらに、単科大学が多い芸術系大学の中で3学部構成という特色を生かし、国際的な視野の下に教育・研究を推進するため、3学部の連携による幅広い教養教育を基礎に美術教育を行っている。

(b) 大学院芸術学研究科：

芸術創造活動を自ら行う芸術家の養成と、地域文化振興のための人材養成を目指し教育・研究を行っている。また、各研究分野の内容を深化させるとともに、各領域を横断する研究や理論的研究など、より深く総合的な教育・研究を行っている。前期、後期課程とも、複数の専攻に分割する構成をとらず、造形芸術専攻、総合造形芸術専攻の各1専攻とし、一貫した教育体制とし、以下の内容の高度な教育・研究を実践している。

- ・ 古典研究を重視しつつ現代の視点に立って、伝統的な文化芸術を継承・発展・創造する専門的人材を育成する教育・研究
- ・ 新しい素材や技法への研鑽を深め、電子メディア社会に即した先端表現を推進する教育・研究。
- ・ 理論の習熟を基にした創作を探求し、創造、表現及びその応用に必要な高度な技術と理論の教育・研究
- ・ 地域文化振興と国際文化交流等、社会における文化芸術の振興において指導的な役割を果たすことのできる人材を育成する教育・研究

b 研究活動状況

地域の美術文化及び産業の振興・発展に多様な形で貢献に努めるため、地域とともに歩む大学として専門分野に関わる諸活動に参画し、作品制作にかかわる研究や実技指導、展覧会の審査委員等の活動を幅広く行っている。

特に、地域団体との協力による文化イベントの開催は、高い評価を得ている。

イ 広島平和研究所

(7) 研究方針

- ・世界初の核兵器による被爆を体験した都市としての歴史を背景に、学術研究活動を通じて、核兵器の廃絶に向けての役割を担うとともに、地球社会が直面する諸問題の解決にも寄与し、世界平和の創造、維持と地域社会の発展に貢献する国際的な平和研究機関を目指す。
- ・国内外における平和研究機関と積極的に連携してネットワークを構築することにより、平和研究の発展に寄与するとともに、学術研究の成果を社会に積極的に公開する。

(4) 研究活動状況

「核」に関する諸問題の研究、「平和」に関する理論的及び実証的研究並びに東アジアの平和に関する研究を主な研究領域として、国際社会に通用する高度な水準の学術研究を実施している。(実施中の研究会：「核・軍縮研究会」、「人間の安全保障研究会」、「信頼安全保障醸成措置（CSBMs）研究会」)

・研究成果の公開

市民を対象とした国際シンポジウムの開催、紀要（ジャーナル）及びニューズレターの発行やホームページの運営等により研究成果の地域社会への還元に努めている。また、時宜に応じたテーマで講師を招き意見交換する「HP I 研究フォーラム」を開催するとともに、平和に関する様々な問題について講義形式により共に学ぶ機会を市民に提供する「連続市民講座」を実施している。

(5) 附属施設の概要（平成 27 年度実績）

ア 附属図書館

図書約 32 万冊（年間受入数 約 7,000 冊）、雑誌約 1,600 誌（年間受入数 約 400 誌）、視聴覚資料約 1,400 タイトルをコンピュータで集中管理。必要な資料をスピーディに手に入れることができる。館内には LAN 環境が整備されており、Web 情報や所蔵資料を活用しながら学習することもできる。自然光を取り入れた、気持ちの安らぐ空間設計も特徴。地域にも開放された図書館である。

○ 利用状況

平成 27 年度	入館者数	97,447 名（409 名／日）
	図書貸出	30,062 冊（126 冊／日）
	〃	13,576 件（57 件／日）

イ 語学センター

各教室に CALL（コンピュータ支援による言語学習）システムを備え、英語や第二外国語の授業が行われるとともに、e ラーニングを利用した自学習型英語授業「CALL 英語集中」や「e ラーニング英語」の教室としても利用されている。

自習室では、約 4,300 点の視聴覚教材や各種語学雑誌、NHK 語学講座のテキストや CD が利用可能である。新たに開設されたランゲージラウンジは、ホワイトボードやソファを備え、リラックスした雰囲気での会話や交流を楽しむ場として利用されている。

○ 利用状況

平成 27 年度	自習室の利用者数	24,877 名（102 名／日）
----------	----------	-------------------

ウ 情報処理センター

高性能なネットワーク機器を備え、利便性に優れた情報通信サービスを提供している。実習室にはパソコンを約 160 台設置し、1 年生の必修科目である「情報基礎」の実施や自習スペースとして活用されている。

教育環境は仮想化されており、自宅のパソコンや学内の貸出パソコンなど実習室以外でも実習室内と同じ環境が利用できる。

また、学内各所で無線 LAN を整備しているほか、他大学の講義が受講可能となる遠隔教育設備の技術支援、履修登録や成績確認を行うことができる大学情報サービスシステムの運用管理の支援など、学内の様々なネットワークサービス支援を行っている。

○ 利用状況

平成 27 年度	学内利用者数	26,686 名（113 名／日）
	学外利用者数	360 名

エ 芸術資料館

本館は、平山郁夫、野田弘志、淀井敏夫、イサム・ノグチ他、国内外の作品約1,200点を保存している。世界の有名なデザイナーズチェアは67点と、まとまった数を収蔵している。そして、大学の教育成果としての作品群、「卒業制作優秀買い上げ作品」、被爆者の肖像画「光の肖像」シリーズを収蔵するなど、幅広い分野の作品の収集を行ってきた。

展示室では、企画展や学部・大学院の研究発表展を随時開催している。また、国内外の美術館や美術展への作品貸出を実施し、大学での研究や広島市立大学芸術資料館のコレクションを一般に公開している。

○ 入場者数

平成27年度	3,877名
--------	--------

○ 収蔵作品貸出美術展数

平成27年度	8件
--------	----

(6) 施設（平成28年4月1日時点）

ア 校地面積等

面積（未取得の面積を含む）	取得費（未取得分を除く）
総面積 30万2,432㎡	総額 135億5,126万円

イ 建物

施設名	建設工事費
総延床面積 7万6,895㎡	
[内訳]	
・本部棟（RC造2F）	1,822㎡
・国際学部棟・講義棟（SRC一部S造7F）	1万2,085㎡
・情報科学部棟・情報処理センター（SRC一部S造8F）	1万8,912㎡
・情報科学部棟別館（SRC一部S造6F）	5,892㎡
・芸術学部棟・芸術資料館・第一工房棟（SRC一部S造6F）	1万4,086㎡
・第二工房棟（S造2F）	489㎡
・第三工房棟（S造2F）	975㎡
・第四工房棟（S一部RC造1BF2F）	1,277㎡
・図書館・語学センター（RC造4F）	6,310㎡
・講堂（RC一部S造2F）	2,543㎡
・体育館（RC一部S造2F）	3,100㎡
・クラブハウス（RC造2F）	400㎡
・第2クラブハウス（軽量鉄骨造1F）	105㎡
・トラック&フィールド倉庫（RC一部S造1F）	118㎡
・学生寮（RC造3F）	2,874㎡
・学生会館（RC造2F）	2,542㎡
・特殊排水処理施設（RC造1F）	106㎡
・エネルギーセンター（RC造1F）	1,002㎡
・その他（コリドール、駐輪場、公用車車庫）	2,257㎡
	総額 320億2,387万円

※ 建設工事費には第2クラブハウスに係る経費を含まない。また、第3クラブハウス（軽量鉄骨造1F、105㎡）については、リース中であるため、上表には含まない。

ウ 屋外

トラック&フィールド

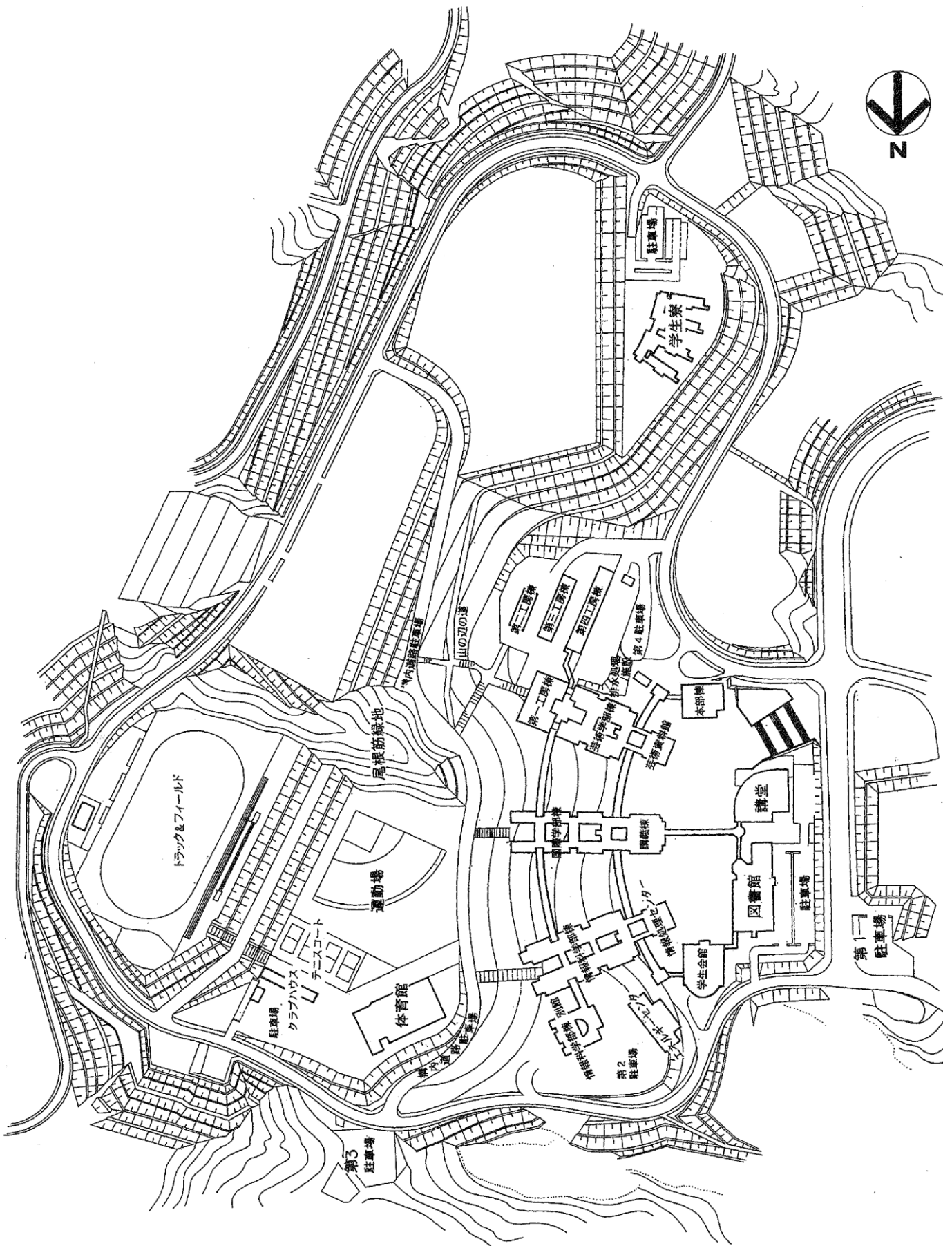
運動場

全天候型テニスコート（4面）

駐車場（約796台）

駐輪場（約350台）

工 施設配置図



(7) 学年暦（平成28年度）

前期（4月1日～9月30日）

4月1日（金）～7日（木）	春季休業
4月4日（月）	入学式
4月4日（月）～7日（木）	オリエンテーション・ガイダンス
4月4日（月）～7日（木）	定期健康診断
4月8日（金）	前期授業開始
4月8日（金）～21日（木）	前期履修手続期間
5月7日（土）・8日（日）	情報科学部新入生オリエンテーションセミナー
6月14日（火）	開学記念日（授業実施）
7月18日（月・海の日）	月曜日の授業実施
7月25日（月）・29日（金）	前期補講日
8月1日（火）～10日（水）	前期定期試験
8月11日（木）～9月30日（金）	夏季休業
8月12日（金）・15日（月）	全学休業日

後期（10月1日～3月31日）

10月1日（土）	後期授業開始
10月3日（月）～14日（金）	後期履修手続期間
10月10日（月・体育の日）	月曜日の授業実施
11月5日（土）・6日（日）	大学祭
12月1日（木）	防火・防災訓練の日
12月24日（土）～1月3日（火）	冬季休業
1月13日（金）	開学記念日の振替日（授業は実施しない）
1月31日（火）	金曜日の授業実施
2月1日（水）・2日（木）	後期補講日
2月3日（金）～16日（木）	後期定期試験
2月17日（金）～3月31日（金）	学年末休業
3月23日（木）	卒業式

(8) 教職員数

ア 平成28年5月1日時点

(7) 教員数

区分等		学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	特任教員	計
学長・副学長	小計	1	2						3
	男	1	2						3
	女								0
国際学部	小計			21 (4)	17 (3)	4 (1)			42 (8)
	男			12 (3)	13 (3)	3 (0)			28 (6)
	女			9 (1)	4 (0)	1 (1)			14 (2)
情報科学部	小計			26	34	18	23	4	105 (0)
	男			25	33	17	22	3	100 (0)
	女			1	1	1	1	1	5 (0)
芸術学部	小計			12 (1)	6	7	3		28 (1)
	男			12 (1)	6	6	0		24 (1)
	女					1	3		4 (0)
広島平和研究所	小計			6 (2)	4 (2)	1			11 (4)
	男			6 (2)	3 (1)				9 (3)
	女				1 (1)	1			2 (1)
社会連携センター	小計							6	6 (0)
	男							6	6 (0)
	女								0 (0)
国際交流推進センター	小計							1	1 (0)
	男							1	1 (0)
	女								0 (0)
合計	計	1	2	65 (7)	61 (5)	30 (1)	26 (0)	11 (0)	196 (13)
	男	1	2	55 (6)	55 (4)	26 (0)	22 (0)	10 (0)	171 (10)
	女	0	0	10 (1)	6 (1)	4 (1)	4 (0)	1 (0)	25 (3)

区分等	計	教員からの兼務	教員以外からの兼務	計
		非常勤講師	63	103
	男	52	78	130 (16)
	女	11	25	36 (5)

※ 平成28年5月1日現在 学校基本調査
特任教員を含む
カッコ内の数字は外国人教員数で内数

(イ) 職員数

区分等		職員	嘱託	臨時職員
事務局	小計	45	32	14
	男	27	6	-
	女	18	26	-
社会連携センター	小計	6	2	2
	男	2	2	-
	女	4	0	-
国際交流推進センター	小計	2	1	1
	男	1	0	-
	女	1	1	-
合計	計	53	35	17
	男	30	8	-
	女	23	27	-

(ウ) 非常勤特任教員数

区分等	非常勤特任教員	
事務局	小計	4
	男	3
	女	1

※ 職員 … 平成28年5月1日現在 学校基本調査、育休中の者及び特任職員を含む
嘱託 … 平成28年5月1日現在
臨時職員 … 平成28年5月1日現在 7時間45分勤務の者のみ

イ 平成27年5月1日時点

(7) 教員数

区分等		学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	特任助教	計
学長・副学長	小計	1	2						3
	男	1	2						3
	女								0
国際学部	小計			22 (3)	18 (3)	4 (2)			44 (8)
	男			13 (2)	12 (2)	3 (1)			28 (5)
	女			9 (1)	6 (1)	1 (1)			16 (3)
情報科学部	小計			29	36	17	22	3	107 (0)
	男			28	35	16	21	2	102 (0)
	女			1	1	1	1	1	5 (0)
芸術学部	小計			12 (1)	8	8	3		31 (1)
	男			12 (1)	7	6	0		25 (1)
	女				1	2	3		6 (0)
広島平和研究所	小計			4 (1)	6 (3)	3			13 (4)
	男			4 (1)	5 (2)				9 (3)
	女				1 (1)	3			4 (1)
社会連携センター	小計								0 (0)
	男								0 (0)
	女								0 (0)
国際交流推進センター	小計			1					1 (0)
	男			1 特任教授					1 (0)
	女								0 (0)
合計	計	1	2	68 (5)	68 (6)	32 (2)	25 (0)	3 (0)	199 (13)
	男	1	2	58 (4)	59 (4)	25 (1)	21 (0)	2 (0)	168 (9)
	女	0	0	10 (1)	9 (2)	7 (1)	4 (0)	1 (0)	31 (4)

非常勤講師	区分等	教員からの兼務	教員以外からの兼務	計
	計	64	107	171 (19)
男	56	78	134 (15)	
女	8	29	37 (4)	

※ 平成27年5月1日現在 学校基本調査
国際交流推進センターの特任教授1人及び
外部資金雇用の教員（特任助教）3人を含む
カッコ内の数字は外国人教員数で内数

(イ) 職員数

区分等		職員	嘱託	臨時職員
事務局	小計	40	32	17
	男	26	6	-
	女	14	26	-
社会連携センター	小計	6	2	2
	男	2	1	-
	女	4	1	-
国際交流推進センター	小計	1	1	1
	男	1	0	-
	女	0	1	-
合計	計	47	35	20
	男	29	7	-
	女	18	28	-

(ウ) 非常勤特任教員数

区分等	非常勤特任教員	
事務局	小計	6
	男	5
	女	1

※ 職員・・・平成27年5月1日現在 学校基本調査、育休中の者及び特任職員を含む
嘱託・・・平成27年5月1日現在
臨時職員・・・平成27年5月1日現在 7時間45分勤務の者のみ

(9) 学生数 (平成28年5月1日時点)

ア 学部

(単位:人)

学部	学科	総定員	1年次		2年次		3年次		4年次		計		
国際学部	国際学科	400	114	(86)	112	(89)	112	(85)	154	(115)	492	(375)	
情報科学部	(学部所属)	-	221	(41)	1						222	(41)	
	情報工学科	240			89	(7)	52	(5)	67	(8)	208	(20)	
	知能工学科	240			69	(12)	68	(21)	59	(15)	196	(48)	
	システム工学科	240			72	(21)	67	(15)	62	(8)	201	(44)	
	医用情報科学科	120			41	(11)	35	(10)	26	(8)	102	(29)	
	計	840	221	(41)	272	(51)	222	(51)	214	(39)	929	(182)	
芸術学部	美術学科	日本画専攻	40	12	(8)	10	(9)	11	(11)	10	(8)	43	(36)
	油絵専攻	80	22	(15)	20	(16)	20	(19)	21	(15)	83	(65)	
	彫刻専攻	40	10	(9)	13	(7)	11	(7)	10	(6)	44	(29)	
	小計	160	44	(32)	43	(32)	42	(37)	41	(29)	170	(130)	
	デザイン工芸学科	160	44	(38)	44	(35)	38	(33)	53	(46)	179	(152)	
	計	320	88	(70)	87	(67)	80	(70)	94	(75)	349	(282)	
合計		1,560	423	(197)	471	(207)	414	(206)	462	(229)	1,770	(839)	

注: ()内は女子の人数で内数

イ 大学院

(単位:人)

研究科	専攻	総定員	1年次		2年次		3年次		計	
研究国際科学	国際学	30	7	(3)	18	(13)			25	(16)
	国際学(後期)	21	1	(1)	5	(2)	8	(7)	14	(10)
	計	51	8	(4)	23	(15)	8	(7)	39	(26)
研究情報科学	情報工学	46	19		37				56	(0)
	知能工学	46	20		21	(1)			41	(1)
	システム工学	46	14		23				37	(0)
	創造科学	30			4				4	(0)
	医用情報科学	30	9						9	(0)
	(前期計)	168	62	(0)	85	(1)	0	(0)	147	(1)
	情報科学(後期)	84	4		3		4		11	(0)
計	252	66	(0)	88	(1)	4	(0)	158	(1)	
研究芸術科学	造形芸術専攻	60	25	(17)	34	(29)			59	(46)
	総合造形芸術(後期)	18	3	(2)	6	(3)	11	(4)	20	(9)
	計	78	28	(19)	40	(32)	11	(4)	79	(55)
計	前期	258	94	(20)	137	(43)	0	(0)	231	(63)
	後期	123	8	(3)	14	(5)	23	(11)	45	(19)
合計		381	102	(23)	151	(48)	23	(11)	276	(82)

注: ()内は女子の人数で内数

(10) 研究生・留学生等 (平成27年度)

(単位:人)

区分	人数	摘要
研究生	6	
外国人研究生	19	中国13、フランス2、韓国2、ベトナム1、ロシア1
科目等履修生	7	中国1
特別聴講学生	28	中国10、ドイツ10、韓国4、フランス4
外国人留学生	65	中国48、韓国8、ベトナム5、シリア1、メキシコ1、ハンガリー1、フランス1

※ 外国人留学生は、平成27年度12月31日の在籍状況。その他は平成27年度の受入数

※ 平成27年度外国人留学生の学部等別内訳

国際学部19、情報科学部7、国際学研究科25、情報科学研究科5、芸術学研究科9

(11) 入学検定料、入学料、授業料等（平成28年4月1日時点）

区 分			金 額	
入学検定料	学生	学部	17,000円 (転学、編入学又は再入学に係る入学検定料については、30,000円)	
		大学院	30,000円	
	研究生		9,800円	
	科目等履修生		9,800円	
入学料	学生	市内の者	282,000円	
		市外の者	423,000円	
	研究生	市内の者	84,600円	
		市外の者	126,900円	
	科目等履修生	市内の者	28,200円	
		市外の者	42,300円	
授業料	学生		年額	535,800円
	研究生		月額	29,700円
	科目等履修生		1単位につき	14,800円
	特別聴講学生		1単位につき	14,800円
公開講座受講料			1講座につき5時間まで	5,200円
			1講座につき5時間を超える時間5時間までごとに	1,000円
学位論文審査手数料			1件につき	57,000円
学生寮使用料			月額	5,900円
証明書交付手数料			1件につき（証明書又は翻訳文書の用紙1枚を1件とする。）	350円

※ この表において「市内の者」とは次の各号のいずれかに該当する者をいい、「市外の者」とは市内の者以外の者をいう。

- (1) 入学の日の属する月の初日において引き続き1年以上広島市の区域内に住所を有する者
- (2) 入学の日の属する月の初日において配偶者又は1親等の親族が引き続き1年以上広島市の区域内に住所を有する者
- (3) 理事長が前2号に掲げる者に準ずると認める者

2 教育・研究

(1) 人材育成の目標及び各ポリシー

ア 学士課程

人材育成の目標

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標としています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

広島市立大学は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の知識・技能・能力を身につけたうえで当該学部が定める審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学位を授与します。

- 多様な文化・価値観を尊び、人間、社会、自然、平和に関する幅広い関心と知識〈普遍的教養〉
- 専門領域に関する体系的な知識・技術・技能〈専門的知識・技術・技能〉
- 豊かな感性と真理探究への情熱に基づく課題発見・分析・解決能力〈課題解決能力〉

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

広島市立大学は「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」を建学の基本理念とし、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標として、教育課程を次のとおり編成します。

1. 幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、感性豊かな人間性を涵養するとともに、新しい時代の潮流に対応できる能力を身につけるため、全学共通系科目・外国語系科目を開設します。
2. 各学部の理念と専門教育の特色に対応した専門教育科目を開設します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

広島市立大学は、次のような人の入学を求めています。

1. 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
2. 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
3. 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

(7) 国際学部

人材育成の目標

国際学部は、豊かな学識と広い視野に基づいて、国際社会や地域社会に貢献できる国際人を育成することを教育理念とし、次のような人材の育成を目標としています。

1. 国際社会が抱えているグローバルな問題、地域社会で生じているローカルな問題に関心を持ち、それらの解決を真摯に考える人材
2. 学問分野、国・地域などの境界を越えて、様々な問題を考え、その解決を探求し、寛容な精神を身につけようとする人材
3. 地域社会に貢献し、さらには国際的な活動を展開していくための、しっかりとした基盤を築こうとする人材

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

国際学部は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の知識・技能・能力を身につけたうえで、卒業論文を提出して審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学士（国際学）の学位を授与します。

- 国際社会や地域社会における課題に関心を持ち、それらの解決を真摯に考える。〈普遍的教養〉
- 地域社会に貢献し、さらには国際的な活動を展開していくための、しっかりとした基盤を築く。〈専門的知識・技能〉
- 学問分野、国・地域などの境界を越えて、さまざまな問題を考え、その解決を探求し、寛容な精神を身につける。〈課題解決能力〉

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

国際学部は、豊かな学識と広い視野に基づいて、国際社会や地域社会に貢献できる国際人の育成を教育理念とし、国際社会がかかえているグローバルな問題、地域社会で生じているローカルな問題に関心を持ち、それらの解決を真摯に考える人材、学問分野、国・地域などの境界を越えて、さまざまな問題を考え、その解決策を探求し、寛容な精神を身につけようとする人材、地域社会に貢献し、さらには国際的な活動を展開していくための基礎をしっかりと築こうとする人材を育成することを目標として、次のとおり教育課程を編成し、実践します。

1. 4年間の学士教育課程を通じ、幅広い教養と専門的・学際的な知識を身につけることができるよう、全学共通系科目・外国語系科目と専門科目を連携させます。
2. 国際的・学際的な視野を持って多様な問題を解決できる能力を高めること、また高度な外国語能力と国際的感覚に加えて問題解決のための行動力を身につけることを目指して、幅広い人文・社会科学分野を網羅する次のプログラムのもとに専門科目を開設します。
 - 国際政治・平和
 - 公共政策・NPO

- 多文化共生
 - 言語・コミュニケーション
 - 国際ビジネス
3. 一人ひとりの関心、興味、ニーズに応じ、専門的な研究へ発展させられるよう、丁寧なサポートを可能にする少人数クラスによるゼミを重視し、自由に組み合わせ学習できる、多様で柔軟な専門科目を編成します。さらに国際学部での学びの成果をまとめるために卒業論文科目を開設します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際学部では、次のような人の入学を求めています。

1. 幅広い分野の基礎的な知識を理解し、さらに考えを深めて自らのことばで表現できる人
2. 日本語と外国語の能力を磨き、コミュニケーション能力を高めて、さまざまな国や地域の人々と交流したい人
3. 国際社会や地域社会のさまざまな課題に関心を持ち、その解決に真摯に取り組める人？

(4) 情報科学部

人材育成の目標

情報科学部は、情報工学・情報科学分野の専門学識及び専門技術を身に付け、高度情報化社会を支えることができる人材を育成することを教育理念とし、次のような人材の育成を目標としています。

1. コンピュータとネットワークの融合技術、情報環境を創造する人材
2. 人間の知的コミュニケーション及び情報行動を支援する知的情報システムを開発・研究できる人材
3. 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで、システム全体の調和と協調を図った創造的な解決策を提案できる人材
4. 情報科学・自然科学・工学にわたる広範な領域における知識や技術を組み合わせて活用することができる人材

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

情報科学部は、所定の期間在学して所定の単位を修得し、以下の分野において専門的技術と理論及びそれらを活用するための英語の基礎能力を修得したうえで、卒業論文を提出して審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学士（情報工学又は情報科学）の学位を授与します。

- コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野
- 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
- 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
- 情報科学・自然科学・工学及び医用生体工学に関連する学際融合分野

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

情報科学部は、情報工学・情報科学分野の専門学識及び専門技術を身に付け、高度情報化社会を支えることができる人材を育成することを教育理念としています。入学後情報科学の基礎知識を修得した後に、学生一人ひとりの興味・関心・適性に基づいて、学生が専門分野を適切に選択できる仕組みを提供し、教育課程を次のように編成します。

1. 幅広い教養・知識を修得し、感性豊かな人間性を涵養するとともに、情報化・国際化等に対応できる能力を身につけるため、全学共通系科目・外国語系科目を教育課程に組み入れます。
2. 情報科学を学ぶ上で基礎となる普遍的な知識・技法を修得するため、専門基礎科目を開設します。
3. 以下の専攻分野について、専門的な知識・技能・能力を修得するため、専門科目を開設します。
 - コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野
 - 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
 - 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
 - 情報科学・自然科学・工学及び医用生体工学に関連する学際融合分野
4. 21世紀の知識基盤社会で問題解決ができる人材を育成するため、実験、演習、口頭発表など体験的・総合的学習を重視した以下の科目を開設します。
 - 専門基礎科目で修得した知識を具体的な問題に適用する能力を育成するための実験科目
 - 専門科目で修得した知識を具体化させ、思考力、洞察力を養い、実際的な問題・課題を解決する能力を育成するための実験科目
 - 研究に対する方法論、問題解決能力を身に付け、研究の成果、意義、有用性を論理的にまとめ、発表・討論する能力を育成するための卒業研究

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

情報科学部では、次のような人の入学を求めています。

1. 情報科学に興味があり、情報科学をより深く学びたいと考えている人
2. 情報科学の基礎である数学・理科・語学が得意な人
3. 困難な問題に挑戦し、解決しようとする意欲と熱意を持つ人？

(ウ) 芸術学部

人材育成の目標

芸術学部は、文化芸術の創造及び発展に貢献できる、先見性、創造性及び独創性に富んだ人材の育成を教育理念とし、美術、デザイン・工芸に関する創造、表現及びその応用の技術と理論を教育・研究し、地域連携と国際交流を視野に入れ、先見性・創造性・独創性に富む卓越した人材の育成を目標としています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

芸術学部は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の技術・理論・能力を身につけたうえで、卒業作品を提出して審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学士（芸術）の学位を授与します。

- 専攻分野における創作活動に必要な表現の技術と理論を有する。
- 独自の表現方法の基礎となる、多様な素材や技術に関する能力を有する。
- 社会と関わりながら表現活動を行う能力を有する。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

芸術学部は、文化芸術の創造・発展に貢献することを教育理念とし、美術、デザイン・工芸に関する創造、表現及びその応用の技術と理論を教育・研究し、地域連携と国際交流を視野に入れ、先見性・創造性・独創性に富む卓越した人材を育成することを目的としています。この目的を達成するため、学科・専攻ごとの特性を最大限に生かした教育課程を次のように編成します。

1. 幅広い教養・知識を修得し、感性豊かな人間性を涵養するとともに、情報化・国際化等に対応できる能力を身につけるため、全学共通系科目・外国語系科目を教育課程に組み入れます。
2. 芸術を学ぶ上での教養を身につけ、専門教育の糧となる基礎を修得するため、芸術リテラシーに関する科目、芸術の歴史に関する科目、技術や素材に関する科目で構成する、専門基礎科目を開設します。
3. それぞれの専攻分野について、専門性に特化した必要な知識・理論・技法等を学び、創造性を磨くために、専門科目を開設します。
4. 国内外の古典芸術を実地研究する事により、美術、デザイン・工芸に関する幅広い知見を修得し、各自の研究を深める科目を開設します。
5. 学部4年間の学修・研究・創作活動を総括し、その成果を作品として発表することにより、自らの創作活動を社会へ発信する科目を開設します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

芸術学部では、次のような人の入学を求めています。

1. 創作活動に必要な基礎的な表現力を持ち、それをさらに伸ばしたいと考えている人
2. 独自の表現方法を見つけて自分のものとするために、多様な素材や技術を学びたい人
3. 地域社会や国際交流を通して、社会と関わりながら表現活動を行いたい人

イ 大学院課程

人材育成の目標

広島市立大学大学院は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、最先端かつ高度な専門性と深い学識を有し、課題発見・分析・解決能力を持ち、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成するこ

とを目標としています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

広島市立大学大学院は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の高度な知識・技能・能力を身につけたうえで研究科が定める審査に合格した学生に対して修了を認定し、学位を授与します。

- 多様な文化・価値観を尊び、人間、社会、自然、平和に関する幅広い関心と知識〈普遍的教養〉
- 専門領域に関する体系的な知識・技術・技能〈専門的知識・技術・技能〉
- 豊かな感性と真理探究への情熱に基づく課題発見・分析・解決能力〈課題解決能力〉

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

広島市立大学大学院は、それぞれ博士前期課程と博士後期課程を有する3研究科で構成され、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、最先端かつ高度な専門性と深い学識を有し、課題発見・分析・解決能力を持ち、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標として、教育課程を次のとおり編成します。

1. 高度の専門性を要する職業等に必要能力を養うため、各研究科において、基礎から応用に至る教育課程を編成します。
2. 博士前期課程については、幅広い視野に立った学識を身につけ、高い倫理観を養うことを目的とする全研究科共通科目群を開設します。
3. 博士後期課程については、各研究科の特性に応じた、高度な研究指導を行います。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

広島市立大学大学院は、次のような人の入学を求めています。

1. 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
2. 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
3. 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

(7) 国際学研究科

人材育成の目標

国際学研究科は、深い学識と広い視野に基づいて、専門的な立場から国際社会や地域社会に貢献できる国際人の育成を教育理念とし、次のような人材の育成を目標としています。

1. 文化、政治、法律、経済、経営、言語の諸側面の様々な機能と役割の分析・研究を通じて、国際社会が直面している問題の分析と解決に資するための教育・研究を行い、国際研究の先導的な役割を担うとともに、国際社会の問題点や課題を自ら発見し、解決できる実践的な人材
2. 高度で先端的な国際研究に携わることのできる教育者・研究者

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程

国際学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の学識・能力を身につけたうえで、修士論文あるいは課題研究報告書を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士（国際学、学術又は平和学）の学位を授与します。

- 学際的な教育課程によって広い視野と各々の専門分野の高度な学識を有する者
- 高い研究能力を修得した者

博士後期課程

国際学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の学識・能力を身につけたうえで、博士學位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、博士（国際学、学術又は平和学）の学位を授与します。

- 学際的な教育課程によって広い視野と各々の専門分野の極めて高度な学識を有する者
- 研究者として自立できる研究能力を修得した者
- 課程修了見込者および課程修了者と同等以上の学力があると認められ、博士學位請求論文を提出して審査に合格した者

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

国際学研究科は、深い学識と広い視野に基づいて、専門的な立場から国際社会や地域社会に貢献できる国際人の育成を基本理念とし、文化、政治、法律、経済、経営、言語の諸側面のさまざまな機能と役割の分析・研究を通じて、国際社会が直面している問題の分析と解決に資するための教育・研究を行い、国際研究の先導的な役割を担うとともに、国際社会の問題点や課題を自ら発見し、解決できる実践的な人材の養成と、高度で先端的な国際研究にたずさわることのできる教育者・研究者の養成を目的として、教育課程を次のように編成し、実践します。

博士前期課程

1. 高い倫理観をもち、幅広い視野に立った学識を身につけるために、研究科独自の開設科目に全研究科共通科目群を組み入れた教育課程とします。
2. 歴史、理論、政策の基本的な3領域を念頭におき、学際的に国際研究に取り組めるように、国際関係研究群、公共政策研究群、経営政策研究群、社会文化研究群、言語文化研究群という多彩な教育・研究内容の授業科目を開設します。

博士後期課程

国際社会の多彩な側面を正確に把握し、多種多様な領域を解明するために、歴史、理論、政策の基本的な3領域を念頭におき、国際社会研究分野と地域研究分野の二つの研究分野から教育課程を編成します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際学研究科では、次のような人の入学を求めています。

1. 広い教養を身につけ、世界や地域の様々な課題に関心を寄せている人。
2. 大学院で学ぶ上で必要な読解力、思考力、表現力を備えている人。
3. 本研究科の研究分野に関する基礎知識を有し、さらに専門的な知識や研究能力を高めようとする人。

(4) 情報科学研究科

人材育成の目標

情報科学研究科は、情報工学及び情報科学分野において、学理の探求と科学技術の発展に貢献するとともに、高度な専門学識、専門技術及び創造力を身につけた人材の育成を教育理念とし、次のような人材の育成を目標としています。

1. コンピュータ及びネットワークについて深く、広い知識を身に付けるとともに、コンピュータとネットワークの両者が融合した新たな情報環境の創出を担える人材
2. 知能ソフトウェアや知能メディアに基づいた高度な知的情報システムの研究開発能力を持った人材
3. 広範な価値観のもとでシステム全体の高機能化と協調を図る広い視野をもった研究開発能力を身に付けた人材
4. 分野間研究に横断的に取り組み、柔軟に境界領域、応用領域を開拓する問題発見・解決型能力を持った人材

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程

情報科学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の分野において、高度な専門的技術と理論を修得したうえで、修士論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士（情報工学又は情報科学）の学位を授与します。

- コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野
- 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
- 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
- 情報科学・自然科学・工学および医用生体工学に関連する学際融合分野

博士後期課程

情報科学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の分野において、極めて高度な専門的技術と理論を修得したうえで、博士学位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、博士（情報工学又は情報科学）の学位を授与します。

- コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野
- 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
- 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
- 情報科学・自然科学・工学および医用生体工学に関連する学際融合分野

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

情報科学研究科は、以下の分野において、学理の探究と科学技術の発展に貢献するとともに高度な専門学識・技術と創造力を身に付けた人材の育成を理念としています。

- コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野
- 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
- 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
- 情報科学・自然科学・工学および医用生体工学に関連する学際融合分野

これらの分野において、高度な専門的知識・技能・能力を修得させる教育を実施するために、教育課程を次のように編成します。

博士前期課程

1. 幅広い視野に立った学識を身につけ、高い倫理観を養うため、全研究科共通科目群を教育課程に組み入れます。
2. 専門分野における知識・技術・技能を養うために、理学・工学を統合する視点から教育課程を編成し、以下の科目を開設します。
 - 基礎から応用までの学識・技術の体系を修得する科目
 - 幅広い専門知識を修得するコア科目
 - 情報科学の最先端事項を修得する科目
 - 高度技術者・研究者の素養を修得する科目（研究成果の学会発表の原則義務化）
 - 創造性と自立性および問題解決能力を育成する科目
 - 産学連携による創造的な人材を育成する科目

博士後期課程

専門分野に必要な深い学識を養い、高度な研究開発能力および実践的課題解決能力を育成するため、以下の科目を開設します。

- 最先端の極めて高度な学識・技術の体系を修得する科目
- 創造性と自立性の育成、および研究成果の社会的還元を目指す科目
- 産学連携による創造的な人材を育成する科目

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

情報科学研究科では、次のような人の入学を求めています。

1. 情報科学に関する学理の探究と、科学技術の発展に関心がある人。
2. 自ら進んで問題に取り組み、その成果を社会に還元する意欲がある人。
3. 情報科学の探求に必要な数理的・科学的思考ができる人。

(ウ) 芸術学研究科

人材育成の目標

芸術学研究科は、文化芸術の創造及び発展をけん引できる、卓越した創作研究能力及び芸術理論に関する高度の専門性を有した人材の育成を教育理念とし、美術、デザイン・工

芸に関する卓越した制作・研究能力を培い、地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たす、理論を踏まえた高度の専門性を有する人材を育成することを目標としています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程

芸術学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の技術や能力を身につけたうえで、以下の修了作品（研究報告書を含む）又は修士論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士（芸術）の学位を授与します。

- 研究分野の創作・研究活動において高度な能力を有する。
- 研究分野の創作・研究活動における多様な素材や技術に関して高度な能力を有する。
- 地域や国際社会と関わりながら、芸術と社会に関する豊かな学識と経験を有する。
- 修了作品にあつては、専門的な技術をもち、独創的な表現を追求した作品
- 修士論文にあつては、文献を十分に調査したうえで、独自の洞察を行っている論文

博士後期課程

芸術学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の技術や能力を身につけるか、それと同等以上の学力があると確認された上で、以下の研究作品及び博士学位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、博士（芸術）の学位を授与します。

- 研究分野の創作・研究活動において卓越した能力を有する。
- 研究分野の創作・研究活動における多様な素材や技術に関して卓越した能力を有する。
- 地域や国際社会と関わりながら、芸術と社会に関する高度な学識と経験を有する。
- 研究作品にあつては、高度に専門的な技術をもち、独創的で卓越した表現を追求したうえで、更なる芸術上の展開が期待できる作品
- 博士学位論文にあつては、適切なテーマを設定し、文献を十分に調査した上で、独自の洞察を行い、的確な構成と表現によって一貫した主張を行っている論文

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

芸術学研究科は、文化芸術の創造・発展をけん引することを理念とし、美術、デザイン・工芸に関する卓越した創作研究、および芸術理論に関する研究の能力を培うことにより、地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たし、理論を踏まえた高度の専門性を有する人材を育成することを目的として、教育課程を次のように編成します。

博士前期課程

1. 幅広い視野から芸術を理解し、深い教養を身につけることができるよう、全研究科共通科目群を教育課程に組み入れます。
2. 専門分野における知識・技能を養うための科目を開設し、研究指導を行います。
 - 専門的な創作と理論の研究および発表

- 創作を基礎づける理論に習熟するための芸術学関連講義
- 理論構築能力を養う論文作成の演習
- 分野を超えた造形演習や語学演習
- 国際的、社会的な環境における創造に関わる研究実践

博士後期課程

専門分野に必要な深い学識と高度な研究能力を養うための科目を開設し、研究指導を行います。

- 高度で専門的な創作の研究および発表
- 専門的な理論研究と高度な理論構築能力を養う論文作成の演習
- 専門領域での探究を基に領域を超えた横断的な研究実践

入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

芸術学研究科では、次のような人の入学を求めています。

1. 美術、デザイン・工芸に関する高度な創造や表現を行うために、卓越した制作・研究能力を身につけたい人。
2. 自らの創造や表現の幅を広げるために、多様な素材や技術に関する専門的な知識を学びたい人。
3. 芸術理論研究を通して、芸術に対する高度な感性と思考力を身につけ、幅広い芸術文化に関わる専門的な知識・研究能力を身につけたい人。
4. 地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たすために、芸術と社会に関する豊かな学識と経験を身につけたい人。

(2) 特色ある講義科目（平成 28 年度）

科目名		学部等	概要																	
広島・長崎講座（学部授業科目）	ひろしま論	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島歴史、行政、経済、産業、文化などをひもといてその特色を知り、地域社会への関心を深め、地域社会の問題解決と将来の繁栄を思考できる幅広い見識を持った人材を育てる。また、国際平和文化都市広島発の原点である被爆体験及び広島からの平和の取り組みについて講義する。 																	
	平和と人権A （ヒロシマと国際平和）	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平和と人権の問題を考えるにあたり、特に「平和」の側面に焦点を当て、現代社会におけるその意義、構造、実現するための課題について探求する。 ・ 広島の被爆体験を軸に、様々な角度から広島と平和の関連について考える。 																	
	広島からの平和学：実践の方法	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島からの平和の取り組みに関する一定の基礎知識や関心を持つ学生を対象とし、広島市における平和の取り組みの経験を生かしながら平和活動を実践するための具体的な方法論を学ぶ。 ・ 学内における講義は最小限にとどめ、広島平和文化センター主催の市民向け平和講座「ヒロシマ・ピースフォーラム」と連携し、被爆体験の継承や平和の実践活動を行っている学外の専門家から学ぶ。 																	
	平和インターンシップ	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島市周辺に存在する資料館、美術館、広島城をはじめ、平和や戦争、原爆被爆などについて学べる施設、史跡等に足を運び、実際に見学しながら専門家から講義を受けることで、平和に関する問題を多角的に学ぶ。 ※本インターンシップは、前期集中講義「広島からの平和学：実践の方法」の後期日程として、平成 23 年度まで単位なしの課外活動として実施してきたが、内容をより充実させ、平成 24 年度から授業科目化した。 																	
	HIROSHIMA and PEACE	国際学部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島への原爆投下を含む戦時経験について、様々な観点から光を当てるとともに、グローバル化時代における世界平和に関連した今日的課題を取り上げることにより、戦争と平和の本質に対する理解を深める機会を、国内外の学生に提供することを目的として、国際学部と広島平和研究所との協力により、夏期集中講座として開講する。 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>応募者</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23(2011)</td> <td>国外 3 9 名 (1 5 カ国) 国内 3 5 名</td> <td>国外 2 5 名 (8 カ国) 国内 2 6 名</td> </tr> <tr> <td>H24(2012)</td> <td>国外 4 6 名 (1 4 カ国) 国内 3 8 名</td> <td>国外 2 9 名 (1 1 カ国) 国内 2 5 名</td> </tr> <tr> <td>H25(2013)</td> <td>国外 4 3 名 (2 1 カ国) 国内 2 4 名</td> <td>国外 1 1 名 (7 カ国) 国内 2 3 名</td> </tr> <tr> <td>H26(2014)</td> <td>国外 4 0 名 (1 4 カ国) 国内 3 1 名</td> <td>国外 2 1 名 (7 カ国) 国内 2 4 名</td> </tr> <tr> <td>H27(2015)</td> <td>国外 4 9 名 (1 3 カ国) 国内 2 2 名</td> <td>国外 1 6 名 (8 カ国) 国内 2 0 名</td> </tr> </tbody> </table>		応募者	参加者	H23(2011)	国外 3 9 名 (1 5 カ国) 国内 3 5 名	国外 2 5 名 (8 カ国) 国内 2 6 名	H24(2012)	国外 4 6 名 (1 4 カ国) 国内 3 8 名	国外 2 9 名 (1 1 カ国) 国内 2 5 名	H25(2013)	国外 4 3 名 (2 1 カ国) 国内 2 4 名	国外 1 1 名 (7 カ国) 国内 2 3 名	H26(2014)	国外 4 0 名 (1 4 カ国) 国内 3 1 名	国外 2 1 名 (7 カ国) 国内 2 4 名	H27(2015)	国外 4 9 名 (1 3 カ国) 国内 2 2 名
	応募者	参加者																		
H23(2011)	国外 3 9 名 (1 5 カ国) 国内 3 5 名	国外 2 5 名 (8 カ国) 国内 2 6 名																		
H24(2012)	国外 4 6 名 (1 4 カ国) 国内 3 8 名	国外 2 9 名 (1 1 カ国) 国内 2 5 名																		
H25(2013)	国外 4 3 名 (2 1 カ国) 国内 2 4 名	国外 1 1 名 (7 カ国) 国内 2 3 名																		
H26(2014)	国外 4 0 名 (1 4 カ国) 国内 3 1 名	国外 2 1 名 (7 カ国) 国内 2 4 名																		
H27(2015)	国外 4 9 名 (1 3 カ国) 国内 2 2 名	国外 1 6 名 (8 カ国) 国内 2 0 名																		

科 目 名	学部等	概 要
情報と企業 (産学連携による遠隔講座)	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ I T技術を中心とした各企業の取り組みを通じて、実社会の状況を知ることが目的とする。 ・ (財) 経済広報センターによる教育支援活動の一環として慶応義塾大学に開設された寄附講座を、実時間遠隔講義環境を利用して、慶應義塾大学、京都大学及び広島市立大学の3大学を接続し、広島市立大学から参加できるようにしている。 ・ 実時間遠隔講義環境を通して、講義中の質疑応答等双方向の対話が可能であり、講師及び他の大学の様子等が表示され、また本大学の様子も他の2大学や講師に対して表示される。
創作と人間	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術学部を持った本学の特徴を最大限に生かし、人間の根源的な創造または創作する気持ちを触発し、作品を造る喜びを伝える。全学部生を対象とし、美術に関する幅広い教養と知識を養うことを目的とする。 ・ 絵画・彫刻・工芸・デザイン等の各領域で、優れた技術と豊富な経験を持つ芸術学部教員が、自らの創作体験や作品の紹介を通して創作への姿勢を示し、その多様な芸術観に触れる機会を提供することで人間的な創作について考察する。
基礎演習	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学での学びに必要な基礎的能力を、入学間もない時期から少人数グループで学修する。 ・ 学部独自のカリキュラムで、情報収集やプレゼンテーションの仕方、レジュメ(要約)等の書き方、そして図書館等の附属施設を効果的に利用する方法などについて、各担当者が工夫して授業を行う。また、教員と学生相互がコミュニケーションを図る機会となり、大学生活全般のオリエンテーションとしても役立っている。 <p>※国際学部においては、専門基礎科目の「基礎演習Ⅰ」を「基礎演習」に相当する科目としている。</p>
CALL 英語集中 (ネットワーク型集中英語学習プログラム)	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピューターネットワークを利用した英語集中学習プログラムにより、リスニング、リーディング、文法を集中的に履修する。 ・ 履修者は、指定された期間中の自分の都合のよい時間に語学センターに来て、ネットワークを通じて配信される教材をコンピューターの指示に従って自分のペースで学習していく。 ・ このプログラムで用意されている教材をすべて消化するには、毎日1時間半程度の学習が必要となる。 ・ プログラムの受講前と受講後にTOEIC IPテストを実施し、英語力及び学習効果を測定する。 <p>※情報科学部においては、「eラーニング英語」として学修時間を指定して実施している。</p>

(3) 外部資金の獲得状況（平成23年度～27年度）

(7) 科学研究費補助金（交付決定額）

○平成27年度内訳は、別表「平成27年度科学研究費補助金交付決定内訳」のとおり

（平成28年3月31日現在）

区 分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
基盤研究(A)	1件	7,100千円	1件	6,400千円	1件	6,600千円	-件	-千円	-件	-千円
基盤研究(B)	9件	25,700千円	8件	25,800千円	8件	29,200千円	9件	27,200千円	9件	26,100千円
基盤研究(C)	32件	30,500千円	40件	38,900千円	43件	44,800千円	43件	46,700千円	44件	44,800千円
挑戦的萌芽研究	1件	800千円	2件	1,600千円	3件	3,000千円	5件	5,200千円	7件	7,700千円
若手研究(B)	16件	15,449千円	16件	14,000千円	7件	5,200千円	10件	6,800千円	8件	5,700千円
新学術領域研究	1件	10,300千円	1件	11,500千円	1件	10,600千円	1件	9,400千円	1件	10,000千円
研究成果公開促進費	1件	1,200千円	-件	-千円	1件	1,600千円	-件	-千円	-件	-千円
研究スタート支援	-件	-千円	1件	1,200千円	1件	1,100千円	2件	1,700千円	1件	1,000千円
合 計	61件	91,049千円	69件	99,400千円	65件	102,100千円	70件	97,000千円	70件	95,300千円
【参考】間接経費	26,925千円		29,820千円		30,150千円		29,100千円		28,590千円	

※交付決定額(直接経費)の件数及び金額は、本学研究代表者分であり、特別研究員奨励費及び間接経費を除く。

※参考掲載の間接経費は、本学研究者代表者分である。

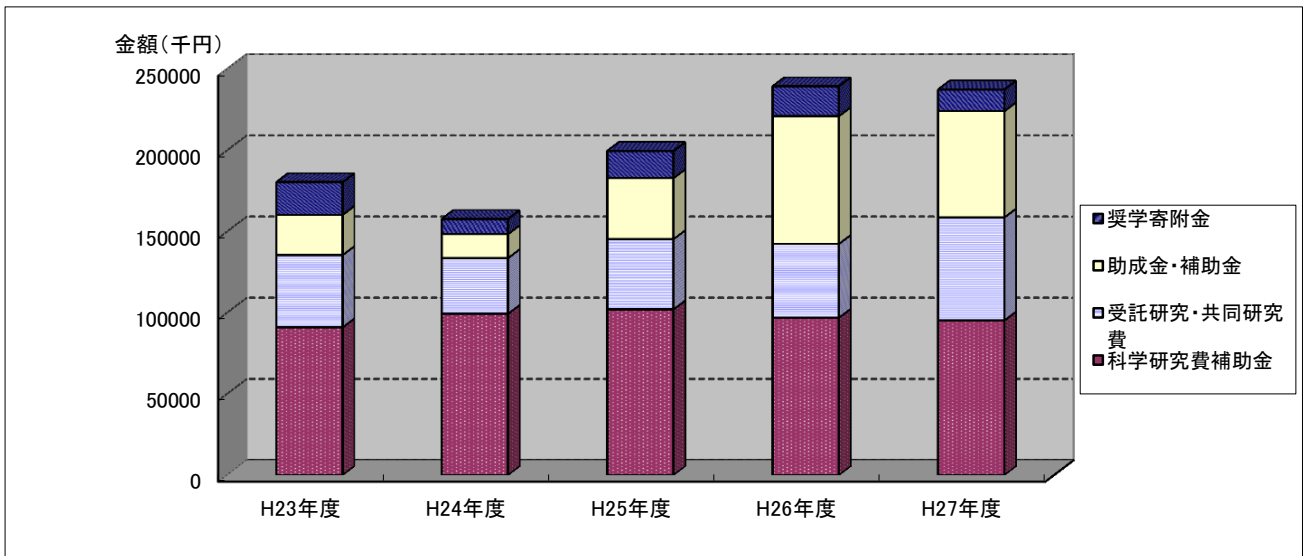
(イ) その他外部資金獲得状況

（平成28年3月31日現在）

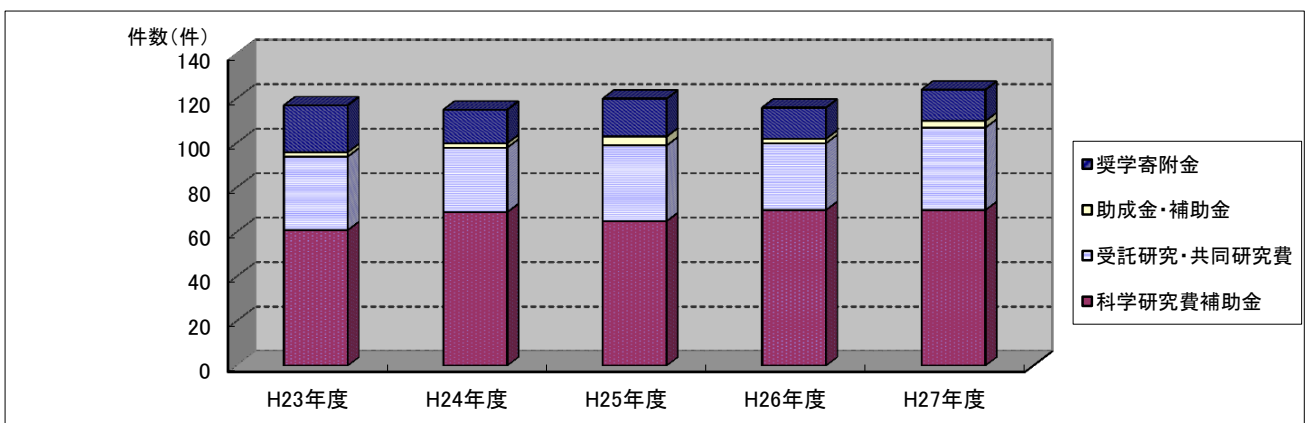
区 分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
受託研究・共同研究費	33件	44,528千円	29件	34,324千円	34件	43,280千円	30件	45,462千円	37件	63,457千円
助成金・補助金	2件	24,757千円	2件	14,751千円	4件	37,566千円	2件	78,650千円	3件	65,420千円
奨学寄附金	21件	20,098千円	15件	9,278千円	17件	16,685千円	14件	18,349千円	14件	13,279千円
合 計	56件	89,383千円	46件	58,353千円	55件	97,531千円	46件	142,461千円	54件	142,156千円

※助成金は助成決定額、奨学寄附金は寄附金受入時の年度で整理している。

(ウ) 外部資金獲得金額の推移



(イ) 外部資金獲得件数の推移



(4) 科学研究費補助金の内訳（平成27年度） ※交付内定額は直接経費のみ

① 基盤研究(B) 9件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)			研究課題名	交付決定額
国際学部	教授	青木 信之	多様な大学環境における英語eラーニングー管理される学習から自律的学習へー	4,100
国際学部	教授	岩井 千秋	「英語を英語で」教える高等学校新指導要領が大学英語教育に与える影響	1,800
国際学部	准教授	田川 玄	グローバル化するアフリカにおける<老いの力>の生成と変容ー宗教儀礼領域からの接近	2,300
情報科学研究科	教授	日浦 慎作	メソスケール構造を有する物体表面の精確なモデリングおよび再現	3,700
情報科学研究科	教授	式田 光宏	呼吸器系末梢気道でのその場計測を可能にするカテーテルセンサ技術の開発	3,400
情報科学研究科	教授	増谷 佳孝	拡散MRIを用いた生体構造のマルチスケール推定による新しい診断情報の創出	1,700
情報科学研究科	教授	石光 俊介	発生機能障害者支援システムの小型化実用検討	1,600
情報科学研究科	准教授	古川 亮	高輝度小型パターン光源を用いた3次元内視鏡の開発と人体消化器官計測の試み	5,000
芸術学部	名誉教授	服部 等作	ヒマラヤをめぐる展開された密教工芸の造形と表現の研究	2,500

② 基盤研究(C) 44件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)			研究課題名	交付決定額
国際学部	教授	赤星 晋作	アメリカにおける連邦・州・学区の教師の資質向上方策に関する総合的研究	800
国際学部	教授	関村 誠	プロティノス美学におけるアイステーシスの位置づけー受容と把握の機能をめぐってー	700
国際学部	准教授	池田 寛子	18世紀以降のアイランド文学におけるアイランド語の伝統	700
国際学部	准教授	金谷 信子	準市場・介護保険サービスにおける営利・非営利事業者比較の実証分析	1,200
国際学部	准教授	倉科 一希	東西緊張緩和を巡るNATOの対立とジョンソン政権	1,300
国際学部	准教授	高橋 広雅	社会規範と市場規範の境界に関する研究: 経済実験によるアプローチ	1,000
国際学部	准教授	大場 静江	フランスにおけるブルターニュの再話文学の系譜ー『バルサズ=ブレイス』を中心として	800
国際学部	准教授	武藤 彩加	複数の言語における「味を表す表現」に関する研究	800
国際学部	准教授	西田 竜也	第二次世界大戦における連合国間の協力と限界	1,000
国際学部	講師	シュラトフ ヤロスラフ	東アジアにおける戦間期の秩序とソ連の極東政策: 外交官と軍部、中央と地方	900
情報科学研究科	教授	岩城 敏	実世界とPCの両者にアクセス可能なハンズフリーインタフェース	1,200
情報科学研究科	教授	北村 俊明	数値計算におけるデータの実用的有効桁数を追跡する計算機構の開発	500
情報科学研究科	教授	高濱 徹行	関数形状のタイプ推定と関数近似を利用した効率的な制約付き最適化に関する研究	900
情報科学研究科	教授	林 朗	音楽における多声性と階層性を表現できるモデル・手法の開発	500

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
情報科学研究科 教授 若林 真一	次世代超高速イーサネットのためのネットワーク侵入検知ハードウェアに関する研究	800
情報科学研究科 教授 井上 智生	ディペンダブル・サイバーフィジカルシステムを指向した取組みLSIの動作合成法	1,300
情報科学研究科 教授 松原 行宏	タブレット端末とポータブルな力覚デバイスによる仮想実験環境と学習支援システム	1,500
情報科学研究科 教授 藤坂 尚登	量子力学的光・テラヘルツ波受信回路の非線形確率微分方程式による記述とモデリング	900
情報科学研究科 教授 李 仕剛	運転者の注意解析に基づく能動的運転補助システム	1,400
情報科学研究科 准教授 市原 英行	ストカスティックロジック回路のテスト手法と信頼度/演算精度設計に関する研究	1,300
情報科学研究科 准教授 井上 博之	視聴者のコンテキストを判断可能な電子看板とその実時間コンテンツ配信手法	1,300
情報科学研究科 准教授 小野 貴彦	傷病者の病態と緊急性に応じた救急車の最適搬送経路	900
情報科学研究科 准教授 末松 伸朗	ガウス過程に基づく確率モデルベース画像処理技術の新展開	900
情報科学研究科 准教授 高橋 賢	ISDB-T地上デジタルテレビ放送における緊急警報放送信号の待機受信方法	1,100
情報科学研究科 准教授 田村 慶一	大規模ソーシャル画像データを用いた動向情報の時空間分析に関する研究	1,400
情報科学研究科 准教授 永山 忍	プログラマブル多次元デジタル波形信号合成器の開発とその設計自動化に関する研究	1,100
情報科学研究科 准教授 難波 英嗣	新情報の追加と書き換え技術を用いたサーベイ論文の自動作成	1,100
情報科学研究科 准教授 三村 和史	構造を持つMAX-XORSATの反復解法の解析	700
情報科学研究科 准教授 釘宮 章光	病態計測に用いるアミノ酸分析用マイクロチップの開発	1,300
情報科学研究科 准教授 双紙 正和	ハッシュ連鎖の柔軟な構成法およびそれを応用した軽量認証法の研究	1,200
情報科学研究科 准教授 宮原 哲浩	強力な表現能力を持つグラフ構造パターンによるグラフ構造データからの深層知識の発見	1,000
情報科学研究科 准教授 内田 智之	グラフ文法圧縮データからの省メモリ高速グラフマイニング手法の開発	1,100
情報科学研究科 准教授 高野 知佐	スペクトル分析と射影追跡法を融合した大規模ユーザネットワークの視覚的分析技術	1,100
情報科学研究科 准教授 小嵯 貴弘	家庭用水道を主導力とする水圧人工筋駆動式パワーアシストの開発	600
情報科学研究科 講師 小畑 博靖	無線LANネットワークにおける改造端末の検出と制御を統一的に行う通信品質制御技術	1,100
情報科学研究科 講師 齋藤 夏雄	正標数の閉体上で定義された代数多様体の研究	800
情報科学研究科 助教 川本 佳代	日本を担う人材のコミュニケーションスキル向上をめざす学習コミュニティの構築	1,000
情報科学研究科 助教 河野 英太郎	有線・無線混在時の無線センサ網向け分散ゲートウェイと秘密分散FECによる通信方式	800
情報科学研究科 助教 高井 博之	赤外線通信による移動ロボットネットワークのための時間空間分割型プロトコル	1,300
情報科学研究科 助教 高橋 雄三	腰部の回転運動を抑制しない立位作業補助椅子開発のための基礎的検討	800
情報科学研究科 助教 目良 和也	発話内容と口調の食い違い検出に基づく話者の心理状態の推定	800
情報科学研究科 助教 脇田 航	バイラテラル制御による手技工程解析に基づく時系列囁知覚パラメータの抽出	700
情報科学研究科 助教 中山 仁史	音響的クラスタリングによる骨伝導音の明瞭性改善に関する研究	1,900
平和研究所 准教授 河上 暁弘	歴史・平和教育と平和博物館論の課題－「歴史・平和	1,300

③ 挑戦的萌芽研究 7件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付内定額
国際学部 教授 曾根 幹子	戦前の日伯スポーツ交流が1964年東京五輪の招致決定に与えた影響	700
情報科学研究科 教授 石光 俊介	聴覚障がい者の発声支援のための振動フィードバックシステムの開発	800
情報科学研究科 教授 式田 光宏	経皮吸収剤応用を目指した矢尻分離型生分解性マイクロニードの開発	1,600
情報科学研究科 助教 小作 敏晴	水飲み鳥の揺動原理に基づく熱機関からの利用可能な余剰エネルギー回収システムの開発	1,200
情報科学研究科 准教授 岩根 典之	デジタル教材における説明支援に関する研究	1,200
情報科学研究科 助教 稲葉 通将	人狼ゲーム研究:他者中の自己モデルを考えた説得的人工知能の開発に向けて	1,100
芸術学部 名誉教授 服部 等作	王座とその象徴性の基礎研究	1,100

④ 若手研究(B) 8件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
国際学部 准教授 卜部 匡司	三分岐型から二分岐型への中等学校制度再編に伴うドイツ教育評価制度の変容	500
国際学部 准教授 山根 史博	ヘドニック二次分析の内生性問題に対する新アプローチ:原発事故の厚生分析への適用	600
国際学部 講師 古澤 嘉朗	平和構築における法の多元性に関する研究—治安部門改革(支援)に着目して	900
情報科学研究科 准教授 宮崎 大輔	全周囲光源装置と偏光解析を用いた透明物体の三次元形状計測	500
情報科学研究科 講師 岡本 勝	マルチタッチ機能と端末間通信機能を活用したタブレット用仮想理科実験環境	800
情報科学研究科 講師 岡山 友昭	特異性をもつ方程式に対する超高性能数値解法の開発と理論動作保証	800
情報科学研究科 助教 串田 淳一	記号間距離を同時に最適化する差分進化プログラミング手法の開発	800
情報科学研究科 助教 岩垣 剛	フィールドでの一時故障への耐性重視した非同期式回路の高信頼設計に関する研究	800

⑤ 新学術領域研究 1件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
情報科学研究科 教授 鷹野 優	分子シミュレーションによる生体活性サイトの構造・機能相関の解明とデザイン	10,000

⑥ 研究活動スタート支援 1件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
芸術学部 准教授 中嶋 泉	パシフィック・ノースウェスト・スクールと日本の戦後美術の交流	1,000

70 件

95,300 千円

基盤研究:1人で行う研究または複数の研究者が共同して行う創造的・先駆的な研究

挑戦的萌芽研究:独創的な発想、特に意外性のある着想に基づく芽生え期の研究

若手研究:37歳以下の研究者が1人で行う研究

新学術領域研究:我が国の学術水準の向上・強化につながる新たな研究領域

研究活動スタート支援:研究機関に採用されたばかりの研究者や育児休業等から復帰する研究者等が1人で行う研究

⑦ 平成27年度科学研究費補助金採択状況（公立大学分）

（新規採択＋継続分）

○交付決定額順

（金額単位：千円）

順位	機関名	件数	配分額	間接経費	合計
1	首都大学東京	419	902,400	270,720	1,173,120
2	大阪府立大学	403	795,700	238,710	1,034,410
3	大阪市立大学	395	863,300	258,990	1,122,290
4	名古屋市立大学	374	564,400	169,320	733,720
5	横浜市立大学	331	613,893	184,168	798,060
6	京都府立医科大学	299	466,200	139,860	606,060
7	兵庫県立大学	255	428,600	128,580	557,180
8	和歌山県立医科大学	209	267,000	80,100	347,100
9	札幌医科大学	205	267,300	80,190	347,490
10	奈良県立医科大学	182	261,200	78,360	339,560
11	福島県立医科大学	181	284,600	85,380	369,980
12	愛知県立大学	93	100,800	30,240	131,040
13	県立広島大学	92	90,000	27,000	117,000
14	秋田県立大学	90	138,000	41,400	179,400
15	京都府立大学	85	167,000	50,100	217,100
16	滋賀県立大学	81	115,500	34,650	150,150
17	九州歯科大学	71	101,200	30,360	131,560
18	高知県立大学	68	79,800	23,940	103,740
19	広島市立大学	66	82,800	24,840	107,640
20	埼玉県立大学	65	69,300	20,790	90,090
21	宮城大学	59	63,200	18,960	82,160
22	北九州市立大学	59	70,400	21,120	91,520
23	岡山県立大学	57	63,400	19,020	82,420
24	高知工科大学	57	118,000	35,400	153,400
25	富山県立大学	46	83,500	25,050	108,550
26	福井県立大学	40	51,400	15,420	66,820
27	岐阜薬科大学	36	58,400	17,520	75,920
28	茨城県立医療大学	34	42,700	12,810	55,510
29	高崎経済大学	33	25,700	7,710	33,410
30	公立はこだて未来大学	32	51,500	15,450	66,950
31	札幌市立大学	32	29,200	8,760	37,960
32	長崎県立大学	32	30,100	9,030	39,130
33	熊本県立大学	32	35,400	10,620	46,020
34	石川県立大学	31	63,400	19,020	82,420
35	神戸市外国語大学	31	33,800	10,140	43,940
36	福岡女子大学	31	31,200	9,360	40,560
37	会津大学	27	30,900	9,270	40,170
38	神奈川県立保健福祉大学	26	24,400	7,320	31,720
39	神戸市看護大学	26	30,500	9,150	39,650
40	千葉県立保健医療大学	25	24,400	7,320	31,720
41	石川県立看護大学	24	27,500	8,250	35,750
42	山梨県立大学	21	24,900	7,470	32,370
43	三重県立看護大学	21	21,200	6,360	27,560
44	山口県立大学	21	22,900	6,870	29,770
45	群馬県立県民健康科学大学	20	15,500	4,650	20,150
46	長野県看護大学	20	17,900	5,370	23,270
47	大分県立看護科学大学	20	34,800	10,440	45,240
48	青森県立保健大学	18	20,600	6,180	26,780
49	愛媛県立医療技術大学	18	16,100	4,830	20,930
50	前橋工科大学	17	20,000	6,000	26,000
51	新潟県立看護大学	17	10,700	3,210	13,910
52	京都市立芸術大学	16	26,300	7,890	34,190
53	山形県立保健医療大学	15	15,000	4,500	19,500

○交付決定額順

(金額単位：千円)

順位	機 関 名	件数	配分額	間接経費	合計
54	沖縄県立看護大学	15	14,500	4,350	18,850
55	都留文科大学	14	15,200	4,560	19,760
56	岐阜県立看護大学	14	10,000	3,000	13,000
57	下関市立大学	14	12,200	3,660	15,860
58	静岡文化芸術大学	13	15,100	4,530	19,630
59	名桜大学	13	11,100	3,330	14,430
60	香川県立保健医療大学	12	13,700	4,110	17,810
61	名寄市立大学	11	8,700	2,610	11,310
62	福山市立大学	10	14,300	4,290	18,590
63	国際教養大学	9	7,200	2,160	9,360
64	金沢美術工芸大学	9	15,600	4,680	20,280
65	公立鳥取環境大学	9	8,600	2,580	11,180
66	尾道市立大学	9	4,600	1,380	5,980
67	釧路公立大学	8	7,100	2,130	9,230
68	愛知県立芸術大学	8	10,100	3,030	13,130
69	静岡県立大学短期大学部	8	6,300	1,890	8,190
70	青森公立大学	7	6,800	2,040	8,840
71	奈良県立大学	6	6,400	1,920	8,320
72	秋田公立美術大学	5	3,900	1,170	5,070
73	産業技術大学院大学	5	7,500	2,250	9,750
74	沖縄県立芸術大学	5	5,400	1,620	7,020
75	山形県立米沢栄養大学	4	3,700	1,110	4,810
76	群馬県立女子大学	4	3,000	900	3,900
78	宮崎公立大学	4	2,600	780	3,380
79	敦賀市立看護大学	3	4,200	1,260	5,460
80	情報科学芸術大学院大学	3	3,100	930	4,030
81	岩手県立大学盛岡短期大学部	3	3,000	900	3,900
82	長岡造形大学	2	3,300	990	4,290
83	宮崎県立看護大学	2	1,600	480	2,080

※平成27年度、日本学術振興会から交付決定された内定情報が対象(当年度の転出情報を含む。転入情報は含まない。)

(5) 研究開発費助成制度等の採択状況

《平成 27 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進事業[地域 I C T 型研究開発] (総務省)

【平成 27 年度採択】

情報科学研究科 准教授 難波 英嗣

研究課題 : 訪日外国人旅行者を対象とした地域情報マイニング技術の研究開発

平成 27 年度 : 2,028,000 円

◆平成 27 年度大学間連携共同教育推進事業補助金 (文部科学省)

【平成 26 年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治

研究課題 : 臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成

(平成 24 年度から 5 年間)

平成 27 年度 : 9,750,000 円

◆平成 27 年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業 (広島県)

【平成 26 年度採択】

情報科学研究科 准教授 双紙 正和

プログラム名 : 大学間連携による新たなグローバル人材育成プログラム

(平成 25 年度から 3 年間)

平成 27 年度 : 4,207,000 円

◆平成 27 年度大学改革推進等補助金 (大学改革推進事業) (文部科学省)

【平成 27 年度採択】

プログラム名 : 地 (知) の拠点大学による地方創生推進事業

(平成 27 年度から 5 年間)

平成 27 年度 : 52,513,000 円

《平成 26 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域 I C T 型研究開発] (総務省)

【平成 25 年度採択】

情報科学研究科 講師 谷口 和弘

研究課題 : 広島発・産学官医連携体制による高齢者見守り支援システムの研究
開発

(平成 25 年度から 2 年間)

平成 26 年度 : 9,243,000 円

◆平成 26 年度大学間連携共同教育推進事業補助金 (文部科学省)

【平成 26 年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治

研究課題 : 臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成

(平成 24 年度から 5 年間)

平成 26 年度 : 12,600,000 円

◆平成 26 年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業（広島県）

【平成 26 年度採択】

情報科学研究科 准教授 双紙 正和

プログラム名：大学間連携による新たなグローバル人材育成プログラム

（平成 25 年度から 3 年間）

平成 26 年度：4,207,000 円

《平成 25 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[ICTイノベーション創出型研究開発]（総務省）

【平成 25 年度採択】

情報科学研究科 教授 角田 良明

研究課題：アシュアランスネットワーク設計原理に基づいた平常時災害時両用システムの研究開発

平成 25 年度：4,596,800 円

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域 ICT 型研究開発]（総務省）

【平成 25 年度採択】

情報科学研究科 講師 谷口 和弘

研究課題：広島発・産学官医連携体制による高齢者見守り支援システムの研究開発

（平成 25 年度から 2 年間）

平成 25 年度：11,350,300 円

◆平成 25 年度大学間連携共同教育推進事業補助金（文部科学省）

【平成 25 年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治

研究課題：臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成

（平成 24 年度から 5 年間）

平成 25 年度：14,000,000 円

◆平成 25 年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業（広島県）

【平成 25 年度採択】

情報科学研究科 准教授 双紙 正和

プログラム名：大学間連携による新たなグローバル人材育成プログラム

（平成 25 年度から 3 年間）

平成 25 年度：6,390,000 円

《平成 24 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[ICTイノベーション創出型研究開発]（総務省）

【平成 24 年度採択】

情報科学研究科 講師 古川 亮

研究課題：4次元メディアシステムの研究開発

（平成 22 年度から 3 年間）

平成 24 年度：8,320,000 円

◆平成 24 年度大学間連携共同教育推進事業補助金（文部科学省）

【平成 24 年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治

研究課題：臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
（平成 24 年度から 5 年間）

平成 24 年度：13,000,000 円

《平成 23 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[ICTイノベーション創出型研究開発]（総務省）

【平成 23 年度採択】

情報科学研究科 講師 古川 亮

研究課題：4次元メディアシステムの研究開発

（平成 22 年度から 3 年間）

平成 23 年度：7,540,000 円

◆平成 23 年度大学改革推進等補助金（文部科学省）

【平成 23 年度採択】

情報科学研究科 教授 佐野 学

研究課題：医療・情報・工学連携による学部・大学院連結型情報医工学プログラム構築と人材育成

平成 23 年度：23,000,000 円

◆未来の科学者養成講座（独立行政法人 科学技術振興機構）

【平成 23 年度採択】

情報科学研究科 教授 佐野 学

委託業務名：ひろしまコンピュータサイエンス塾～情報科学ってスゴイ！～

（平成 21 年度から 3 年間）

平成 23 年度：6,763,100 円

《平成 22 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域 ICT 振興型研究開発]（総務省）

【平成 22 年度採択】

情報科学研究科 教授 石田 賢治

研究課題：超高速衛星回線を有効利用する基盤技術の研究開発

（平成 21 年度から 2 年間）

平成 22 年度：11,196,900 円

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[若手 ICT 研究者育成型研究開発]（総務省）

【平成 22 年度採択】

情報科学研究科 講師 福田 浩士

研究課題：脳の感覚運動変換メカニズムの解明に関する研究開発

（平成 20 年度から 2 年間）

平成 22 年度：2,871,700 円

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[ICTイノベーション創出型研究開発]（総務省）

【平成 22 年度採択】

情報科学研究科 講師 古川 亮

研究課題：4次元メディアシステムの研究開発

（平成 22 年度から 3 年間）

平成 22 年度：6,890,000 円

◆平成 22 年度大学改革推進等補助金（文部科学省）

【平成 22 年度採択】

情報科学研究科 教授 佐野 学

研究課題：医療・情報・工学連携による学部・大学院連結型情報医工学プログラム構築と人材育成

平成 22 年度：18,460,000 円

◆未来の科学者養成講座（独立行政法人 科学技術振興機構）

【平成 22 年度採択】

情報科学研究科 教授 佐野 学

委託業務名：ひろしまコンピュータサイエンス塾～情報科学ってスゴイ！～
（平成 21 年度から 3 年間）

平成 22 年度：7,074,100 円

《平成 21 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域 ICT 振興型研究開発]（総務省）

【平成 21 年度採択】

情報科学研究科 教授 前田 香織

研究課題：モビリティ技術を活用した国際都市ホスピタリティ向上に関する研究開発

（平成 20 年度から 2 年間）

平成 21 年度：9,726,600 円

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[若手 ICT 研究者育成型研究開発]（総務省）

【平成 21 年度採択】

情報科学研究科 講師 福田 浩士

研究課題：脳の感覚運動変換メカニズムの解明に関する研究開発

（平成 20 年度から 2 年間）

平成 21 年度：4,386,200 円

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域 ICT 振興型研究開発]（総務省）

【平成 21 年度採択】

情報科学研究科 教授 石田 賢治

研究課題：超高速衛星回線を有効利用する基盤技術の研究開発

（平成 21 年度から 2 年間）

平成 21 年度：12,052,300 円

◆未来の科学者養成講座（独立行政法人 科学技術振興機構）

【平成 21 年度採択】

情報科学研究科 教授 佐野 学

委託業務名：ひろしまコンピュータサイエンス塾～情報科学ってスゴイ！～
（平成 21 年度から 3 年間）

平成 21 年度：7,776,000 円

(6) F D ・ S D 活動実施状況 (平成27年度)

内 容	年月日	テーマ/講師
新任教職員 F D ・ S D 研修会 ①参加者数：21名 ②場所：本学本部棟大会議室	平成27年4月3日	理事長講話 /青木理事長 教職員の服務について /塩田理事 (事務局長) 大学紹介 /若林理事 事務局の概要 /内河内総務室長補佐 学内視察
前期授業アンケート ①受講登録者数：15,585人 ②回答者数：11,797人 (回答率：75.7%)	平成27年7月4日 ～9月7日	
科研費獲得研修会 ①参加者数：66名 ②場所：講堂小ホール	平成27年7月28日	本学の外部資金の獲得状況について /講師：若林理事 私の科研費・外部資金獲得法 /講師：関村教授 (国際学部)、式田教授 (情報科学研究科) 社会連携センターによる科研費・外部資金獲得支援について /講師：竹澤社会連携センター長
情報セキュリティセミナー ①参加者数：43名 ②場所：情報処理センター実習室	平成27年11月17日、 11月20日	「自分で守ろう！情報セキュリティ」-電子メールの取扱いやセキュリティ対策について- /講師：情報処理教務員 勝部 章子
意匠権と著作権、その境目 ①参加者数：31名 ②場所：本学講堂小ホール	平成27年12月2日、 12月3日	「意匠権と著作権、その境目」 /講師：丞村客員教授
危機管理研修会 ①参加者数：39名 ②場所：本学講堂小ホール	平成27年12月4日	「防火・防災講習会」 /講師：安佐南消防署予防課 佐竹 哲陽 課長
広報スキルアップセミナー ①参加者数：28名 ②場所：講堂小ホール	平成28年1月26日、 1月28日	「日本初?! 「笑ってはいけない」で学ぶ広報のコツ～こんなプレスリリースは嫌だ～」 /講師：企画室 長山事務推進員
国におけるキャリア・就職施策について ①参加者数：27名 ②場所：本学講堂小ホール	平成28年3月3日	「国におけるキャリア・就職施策について」 /講師：キャリアセンター 田口主任、 キャリアセンター 和田キャリアアドバイザー
ストレスチェック制度について ①参加者数：28名 ②場所：講堂小ホール	平成28年3月4日	「健康管理等に関する講演会」 /講師：広島市企画総務局福利課 三池 美紀 栄保健師

内 容	年月日	テーマ／講師
全学COC+研修会 ①参加者数：68名 ②場所：本学講堂小ホール	平成28年3月8日	「地域志向型教育への期待と現実、地方創生への貢献」 ／講師：広島大学大学院生物圏科学研究科 山尾 政博 教授、細野 賢治 准教授 広島大学COC 中山間地域・島しょ部 大泉 賢吾 コーディネーター、天野 通子 特任助教 「地域おこし、市大生のできたこととやってみたいこと」 ／講師：山口教授（国際学部） 「広島市立大学COC+事業における地域貢献人材育成プログラム」 ／講師：若林理事
研究倫理・研究不正防止研修会 ①参加者数：65名 ②場所：本学講堂小ホール	平成28年3月8日	「信頼される研究活動に向けて：文部科学省が定めるガイドラインについて」 ／講師：若林理事 「関連規程・関連制度等の説明」 ／講師：教務・研究支援室 正地主事
後期授業アンケート ①受講登録者数：14,089人 ②回答者数：10,532人 （回答率：74.8%）	平成27年11月22日 ～ 平成28年3月3日	

3 入学試験

(1) 入学試験の概要

ア 学部（平成29年度入試）

◇一般入試

試験区分	募集人員	学部	試験科目等	備考
前期日程	60	国際学部	小論文	本学が指定する科目について大学入試センター試験の受験を課す。
	130	情報科学部	数学、外国語、理科	
	50	芸術学部 美術学科油絵専攻 デザイン工芸学科	実技検査	
後期日程	20	国際学部	総合問題	
	40	情報科学部	数学	
	27	芸術学部 美術学科日本画専攻 美術学科彫刻専攻 デザイン工芸学科	実技検査	
合計	327	(内訳 国際学部 80 情報科学部 170 芸術学部 77)		

◇特別入試

試験区分	募集人員	学部	試験科目等	備考
推薦入試	市内公募	国際学部	小論文、面接	市内公募:入学時の1年以上前から広島市に住所を有している者
	全国公募			
	市内公募	情報科学部	総合問題、面接	
	全国公募			
自己推薦入試	3	芸術学部 美術学科彫刻専攻	自己アピール資料、実技、面接	自己アピール資料は出願時に提出
外国人留学生入試	若干名	国際学部	小論文、面接	①本学が指定する科目について日本留学試験の受験を課す。 ②TOEIC [®] の受験を課す。(芸術学部のみ)
	若干名	情報科学部	数学、面接	
	若干名	芸術学部	実技検査、面接	
合計	63	(内訳 国際学部 20 情報科学部 40 芸術学部 3)		

◇編入学試験

試験区分	募集人員	学部	試験科目等	備考
一般入試	若干名	情報科学部	面接	TOEIC [®] の受験を課す。

イ 大学院（平成29年度入試）

◇一般入試

試験区分	募集人員	研究科	試験科目等	備考
博士前期課程	15	国際学研究科	外国語、共通問題及び専門問題、口述試験	平成28年度秋季入学有り(募集人員:若干名) TOEIC®の受験を課す。 (情報科学研究科のみ)
	47	情報科学研究科	外国語、専門基礎科目、専門科目、面接 ※実施科目は専攻によって異なる	
	30	芸術学研究科	外国語、実技又は、作品提出、口述試験、 プレゼンテーション、筆記試験 ※実施科目は志望研究室によって異なる	
博士後期課程	7	国際学研究科	外国語、専門科目、口述試験	平成28年度秋季入学有り(募集人員:若干名)
	28	情報科学研究科	専門科目、口述試験	
	6	芸術学研究科	外国語、作品提出、口述試験、小論文	
合計	133	(内訳 博士前期課程 92 博士後期課程 41)		

◇特別入試

試験区分	募集人員	研究科	試験科目等	備考	
博士前期課程	社会人入試	若干名	国際学研究科	共通問題、小論文、口述試験	平成28年度秋季入学有り(募集人員:若干名)
		若干名	情報科学研究科	面接	
	海外学術交流協定大学推薦入試	若干名	国際学研究科	書類選考	
	推薦入試	37	情報科学研究科	面接	TOEIC®の受験を課す。
博士後期課程	社会人入試	若干名	国際学研究科	外国語、専門科目、口述試験	平成28年度秋季入学有り(募集人員:若干名)
		若干名	情報科学研究科	口述試験	
	海外学術交流協定大学推薦入試	若干名	国際学研究科	書類選考	
合計	37+若干名 (内訳 博士前期課程 37+若干名 博士後期課程 若干名)				

(2) 入学試験実施状況（平成28年度入試）

ア 学部1年次入学

・入学試験実施状況

学部	学科	募集人員	志願者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	入学者数	倍率 (A/B)	
国際学部	国際学科	人 100	人 422	人 305	人 127	人 114	倍 2.4	
情報科学部	情報工学科	210	1,250	698	259	221	2.7	
	知能工学科							
	システム工学科							
	医用情報科学科							
芸術学部	美術学科	日本画専攻	10	42	29	14	12	2.1
		油絵専攻	20	47	46	27	22	1.7
		彫刻専攻	10	44	37	15	10	2.5
	デザイン工芸学科	40	234	177	46	44	3.8	
	計	80	367	289	102	88	2.8	
合 計		390	2,039	1,292	488	423	2.6	

・入学者の男女別、県内・県外別、卒業年調

学 部	入学者数	男	女	広島県内		広島県外	卒 業 年	
				広島市内	広島市外		新卒	既卒・他
国際学部	人 114	人 28	人 86	人 50	人 20	人 44	人 103	人 11
情報科学部	221	180	41	69	51	101	197	24
芸術学部	88	18	70	24	10	54	56	32
合 計 (構成比)	423	226 (53.4%)	197 (46.6%)	143 (33.8%)	81 (19.2%)	199 (47.0%)	356 (84.2%)	67 (15.8%)

イ 学部3年次編入学

・入学試験実施状況

学 部	学 科	募集人員	志願者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	入学者数	倍率 (A/B)
情報科学部	情報工学科	人 若干名	人 -	人 -	人 -	人 -	倍 -
	知能工学科	若干名	1	1	0	0	-
	システム工学科	若干名	-	-	-	-	-
	医用情報科学科	若干名	-	-	-	-	-
	合 計	若干名	1	1	0	0	-

・入学者の男女別、県内・県外別、卒業年調

学部	入学者数	男	女	広島県内		広島県外	卒 業 年	
				広島市内	広島市外		新卒	既卒他
情報科学部	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -

ウ 大学院（博士前期課程 平成28年4月入学分）

・入学試験実施状況

研究科	専攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際学研究科	国際学専攻	人 15	人 8 (6)	人 7 (5)	人 5 (3)	人 4 (2)
情報科学研究科	情報工学専攻	23	22 (1)	21 (1)	19 (1)	19 (1)
	知能工学専攻	23	22 (1)	21 (1)	21 (1)	20 (1)
	システム工学専攻	23	18 (1)	18 (1)	16 (1)	14 (1)
	医用情報科学専攻	15	9 (0)	9 (0)	9 (0)	9 (0)
	計	84	71 (3)	69 (3)	65 (3)	62 (3)
芸術学研究科	造形芸術専攻	30	34 (5)	32 (4)	27 (3)	25 (3)
合 計		129	113 (14)	108 (12)	97 (9)	91 (8)

※()内は留学生数で内数である。

※国際学研究科及び情報科学研究科の募集人員は、平成28年10月入学分を含む。

・入学者の男女別、出身大学別、卒業年調

研究科	入学者数	男	女	出身大学		卒業年	
				本学	他大学	新卒	既卒他
国際学研究科	人 4	人 3	人 1	人 0	人 4	人 2	人 2
情報科学研究科	62	62	0	59	3	60	2
芸術学研究科	25	8	17	18	7	21	4
計	91	73	18	77	14	83	8

エ 大学院（博士後期課程 平成28年4月入学分）

・入学試験実施状況

研究科	専攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際学研究科	国際学専攻	人 7	人 -	人 -	人 -	人 -
情報科学研究科	情報科学専攻	28	3 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)
芸術学研究科	総合造形芸術専攻	6	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)
合 計		41	6 (1)	6 (1)	6 (1)	6 (1)

※()内は留学生数で内数である。

※国際学研究科及び情報科学研究科の募集人員は、平成28年10月入学分を含む。

・入学者の男女別、出身大学院別、修了年調

研究科	入学者数	男	女	出身大学院		修了年	
				本学	他大学	新卒	既卒他
国際学研究科	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -
情報科学研究科	3	3	-	2	1	1	2
芸術学研究科	3	1	2	3	-	2	1
計	6	4	2	5	1	3	3

(3) 年次別競争率等（平成19年度～28年度入試）

ア 年次別競争率

（単位：倍）

区 分		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
国際学部	推薦入試	2.3	1.9	2.8	2.1	1.8	2.3	2.2	1.9	1.9	2.0
	一般入試 前期日程	2.5	3.2	3.0	3.7	3.5	1.9	3.3	2.3	3.0	2.1
	一般入試 後期日程	5.5	5.2	5.9	5.6	5.0	3.8	5.3	3.3	4.1	4.0
情報科学部	推薦入試	1.5	1.9	1.5	1.8	1.8	1.7	2.1	1.9	2.1	1.8
	一般入試 前期日程	2.0	2.0	3.2	2.6	2.1	3.4	3.4	2.4	3.1	2.5
	一般入試 後期日程	3.0	3.0	4.9	3.7	5.9	4.0	6.7	2.4	4.7	4.0
芸術学部	彫刻専攻 自己推薦入試	/	/	/	/	/	4.4	3.8	2.8	3.5	3.0
	一般入試	2.8	2.8	2.6	2.0	2.3	2.5	2.4	2.3	3.0	2.8

イ 特別入試入学者数

（単位：人）

区 分		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
国際学部	推薦入試	27	28	26	27	25	25	22	25	26	25
	外国人留学生 入試	—	4	1	3	3	6	5	7	1	4
情報科学部	推薦入試	40	42	42	45	50	45	49	47	46	44
	外国人留学生 入試	—	—	—	2	3	2	2	2	1	1
芸術学部	彫刻専攻 自己推薦入試	/	/	/	/	/	5	4	4	4	4
	外国人留学生 入試	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	推薦入試	67	70	68	72	75	70	71	72	72	69
	彫刻専攻 自己推薦入試	/	/	/	/	/	5	4	4	4	4
	外国人留学生 入試	—	4	1	5	6	8	7	9	2	5

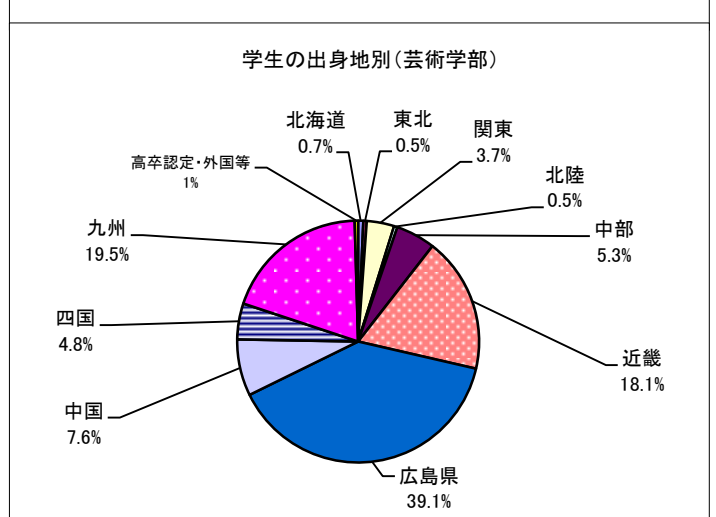
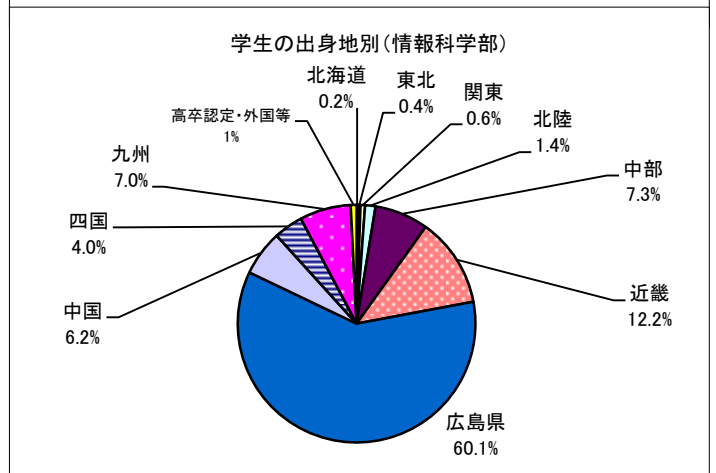
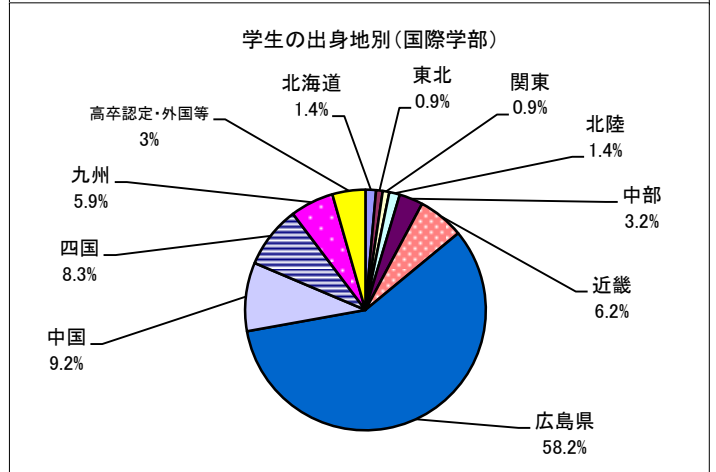
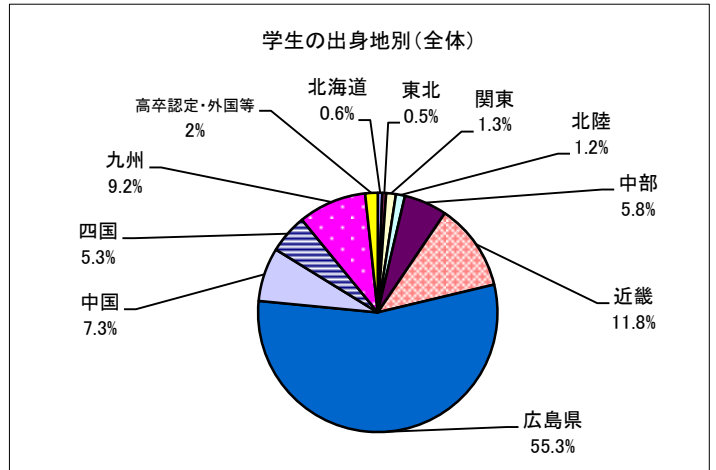
ウ 編入学者数

（単位：人）

区 分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
募集人員	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
受験者数	15	15	8	8	12	6	1	2	4	1
入学者数	4	2	2	4	2	2	0	1	1	0

(4) 入学者の状況
出身都道府県別内訳（平成24年度～28年度 学部）

出身地域	人数	内訳		
		国際学部	情報科学部	芸術学部
北海道地方	13	8	2	3
東北地方	青森県	0	0	0
	岩手県	1	0	1
	宮城県	8	4	2
	秋田県	0	0	0
	山形県	0	0	0
	福島県	2	1	1
	小計	11	5	4
関東地方	茨城県	5	2	1
	栃木県	5	2	3
	群馬県	0	0	0
	埼玉県	1	0	0
	千葉県	2	0	1
	東京都	9	1	1
	神奈川県	6	0	1
小計	28	5	7	
北陸地方	新潟県	1	1	0
	富山県	7	1	5
	石川県	5	0	4
	福井県	13	6	7
小計	26	8	16	
中部地方	山梨県	2	0	2
	長野県	4	1	3
	岐阜県	20	1	16
	静岡県	35	6	20
	愛知県	63	10	42
小計	124	18	83	
近畿地方	三重県	26	3	19
	滋賀県	21	0	15
	京都府	48	6	19
	大阪府	51	8	27
	兵庫県	71	11	46
	奈良県	24	3	5
	和歌山県	11	4	7
小計	252	35	138	
中国地方	鳥取県	12	5	6
	島根県	41	11	27
	岡山県	49	21	13
	広島県	1,180	328	681
	山口県	53	15	24
小計	1,335	380	751	
四国地方	徳島県	10	4	2
	香川県	49	21	17
	愛媛県	42	13	25
	高知県	12	9	1
小計	113	47	45	
九州地方	福岡県	70	4	23
	佐賀県	16	2	7
	長崎県	30	7	13
	熊本県	21	3	8
	大分県	16	1	12
	宮崎県	19	6	7
	鹿児島県	19	6	7
沖縄県	6	4	2	
小計	197	33	79	
高卒認定・外国等	36	25	9	
合計	2,135	564	1,134	



(5) 社会人入試（大学院）の状況

◆ 国際学研究所（平成 28 年度入試）

(1) 博士前期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 学校教育法に規定する大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、入学時において3年以上の職歴又はその他の経験（例えば主婦、ボランティア活動など）を有する者
- ウ 選抜方法 筆記試験、口述試験

(2) 博士後期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 修士の学位を有する者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、入学時において3年以上の職歴又はその他の経験（例えば主婦、ボランティア活動など）を有する者
- ウ 選抜方法 筆記試験、口述試験

◆ 情報科学研究科（平成 28 年度入試）

(1) 博士前期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 学校教育法に規定する大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、教育機関又は研究機関・官公庁・企業等において、通算して2年以上の勤務経験を有する者
- ウ 選抜方法 面接

(2) 博士後期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 修士の学位を有する者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、教育機関又は研究機関・官公庁・企業等において、通算して2年以上の勤務経験を有する者
- ウ 選抜方法 口述試験

◆ 社会人入試による入学者数（平成 23～27 年度）

単位：人

区 分		H23	H24	H25	H26	H27	
国際学研究所	博士前期課程	春季入学	1	-	1	3	2
		秋季入学	1	-	1	2	-
	博士後期課程	春季入学	1	2	-	-	-
		秋季入学	2	-	-	-	-
情報科学研究科	博士前期課程	春季入学	-	-	-	-	1
		秋季入学	-	1	-	-	-
	博士後期課程	春季入学	-	1	-	-	2
		秋季入学	-	1	-	1	-

4 学生生活

(1) 学生の受賞状況

《平成 27 年度》

※学年は受賞当時

◆印は学生表彰受賞者

国際学部・国際学研究科

◆国際学部 4 年 来田卓哉

本学が推進する読書、映画、美術展鑑賞推進事業「いちだい知のトライアスロン」に積極的に取り組み、最終目標であるトライアスロンコース（読書、映画、美術展覧会の合計 120 点に関する読書や鑑賞、そのコメント投稿）を初めて修了し、“知の鉄人” 第 1 号となった。また、投稿したコメントも 2 度のコメント大賞を受賞した。

情報科学部・情報科学研究科

◆情報科学研究科（博士前期）システム工学専攻 1 年 岡田淳司

◆情報科学研究科（博士前期）システム工学専攻 1 年 花房祐貴

立命館大学主催の全国高校・大学ソフトウェア創作コンテスト「あいちゃれ 2015」において、協賛企業賞である V S N 賞及びニッセイコム賞を受賞した。当該大学のサイトにおいて、最終選考会の結果及びプレゼンテーションの様子が掲載され、広島市立大学の名称を広く知らせている。また、創作したソフトウェアの内容が学術をもって社会貢献を目指しており、その学術研究活動が高く評価された功績は大きい。

□情報科学部情報工学科 4 年 胡濱良樹

□情報科学部情報工学科 4 年 米田浩貴

2015 年 5 月、「第一回電子デバイス・回路・照明・システム・関連教育・研究ワークショップ」で「最優秀賞」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻 2 年 市本貴宏

2015 年 7 月、「第 20 回知能メカトロニクスワークショップ」で「優秀講演賞」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）知能工学専攻 2 年 酒井達弘

2015 年 7 月、「IWCIA2014」で「IEEE SMC Hiroshima Chapter Best Student Presentation Award」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）知能工学専攻 1 年 石村司

2015 年 8 月、「RICOH THETA デベロッパーズコンテスト」のアプリケーション部門で「RICOH THETA 賞」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻 2 年 横山瑞宣

2015 年 9 月、「日本ソフトウェア科学会第 32 回大会」で「学生奨励賞」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻 1 年 奥田涼

- 情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻1年 田中智大
- 情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻1年 山本啓輔
- 情報科学部情報工学科4年 矢萩拓夢

2015年9月、「第14回情報科学技術フォーラム」で「第6回相磯秀夫杯デザインコンテスト」決勝リーグで5位に入賞した。
- 情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻2年 佐川拓磨
- 情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻2年 伊藤智基
- 情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻1年 山本彩斗

2015年11月、「学生ケータイあわ〜ど」の「ケータイアイデア部門」で「学生会特別賞」を受賞した。
- 情報科学部知能工学科3年 岡和秀
- 情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻1年 福田基
- 情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻1年 川嶋聖也

2015年11月、「学生ケータイあわ〜ど」の「アプリ作品部門」で岡和秀が「最優秀賞・中国総合通信局長賞」を受賞、福田基と川嶋聖也が入賞した。
- 情報科学研究科（博士前期課程）知能工学専攻1年 北園忠弘
- 情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻1年 成相貴弘
- 情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻1年 玉川宗磨
- 情報科学部システム工学科1年 田中織絵

2015年11月、「IEEE 広島支部学生シンポジウム」で「HISS 優秀研究賞」を受賞した。
- 情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻2年 佐川拓磨

2015年11月、「IEEE 広島支部学生シンポジウム」で「HISS 最優秀プレゼンテーション賞」を受賞した。
- 情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻2年 伊藤智基

2015年11月、「IEEE 広島支部学生シンポジウム」で「HISS 優秀プレゼンテーション賞」を受賞した。
- 情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻1年 岡田淳司
- 情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻1年 花房祐貴

2015年11月、「全国高校・大学ソフトウェアコンテスト」で「VSN賞」と「ニッセイコム賞」を同時受賞した。
- 情報科学部システム工学科4年 大屋梨香

2015年12月、「人類働態学会東日本地方会」で「優秀発表賞」を受賞した。
- 情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻2年 菊池光太郎
- 情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻2年 齋藤大誠
- 情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻1年 花房祐貴
- 情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻1年 岡田淳司
- 情報科学部システム工学科4年 網本勇樹

2016年1月、「キャンパスベンチャーグランプリ中国」で「特別賞（日刊工業新聞社賞）」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻1年 菅原正伍

□情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻1年 若狭優貴

2016年3月、「平成27年度（第66回）電気・情報関連学会中国支部連合大会」における論文発表で「電子情報通信学会中国支部連合大会奨励賞」を受賞した。

芸術学部・芸術学研究科

◆芸術学研究科（博士後期）総合造形芸術専攻1年 大庭孝文

岐阜県高山市主催の平成27年度「第26回臥龍桜日本画大賞展」において、最高賞となる大賞を受賞した。「臥龍桜日本画大賞展」は、平成2年から毎年開催される全国公募の日本画の展覧会であり、受賞により本学の芸術教育の水準の高さを示すとともに、大学の名声を向上させることに貢献した。

□芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻1年 平濱あかり

2015年5月、「2015京展」の工芸部門で入選した。

□芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻2年 高瀬安芸

□芸術学部デザイン工芸学科4年 梅田綾香

2015年6月、「第3回新県美展（第67回広島県美術展）」で高瀬安芸が「奨励賞」を受賞。梅田綾香が入選した。

□芸術学研究科（博士後期課程）総合造形芸術専攻1年 大庭孝文

□芸術学研究科（博士後期課程）総合造形芸術専攻1年 浅埜水貴

2015年7月、「第26回臥龍桜日本画大賞展」で大庭孝文が最高賞となる「大賞」を受賞、浅埜水貴が入選した。

□芸術学部美術学科日本画専攻4年 中谷彩加

2015年10月、「国際瀧富士美術賞」の優秀賞を受賞し、第36期奨学生に選出された。

□芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻1年 平濱あかり

□芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻2年 久保田寛子

□芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻2年 高瀬安芸

□芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻1年 佐藤衣里

□芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻1年 姫野奈菜子

□芸術学部デザイン工芸学科（染織造形）4年 梅田綾香

2015年10月、「第70回新匠工芸会展」で平濱あかりが「新匠賞」を受賞。久保田寛子、高瀬安芸、佐藤衣里、姫野奈菜子、梅田綾香が入選した。

□芸術学部デザイン工芸学科（染織造形）4年生 花田梨奈

2015年11月、「真綿のヴィジュアル・アート」公募で「奨励賞」を受賞した。

参考：学生課外活動（クラブ活動）

◆学生表彰への推薦なし

5 就職

(1) 就職・進学等(平成27年度)

ア 学部別の状況

平成28年4月1日現在

(ア) 学部生

(単位:名、%)

区 分		(A+C+D) 卒業 者	就職希望者			進学者 (C)	進学・就職以外 の者 (D)	前 年 度(H27年3月卒)					
			希望者 (A)	就職者 (B)	就職 決定率 (B/A× 100)			卒 業 者	就職希望者			進 学 者	進学・就職以外 の者
									希望者	就職者	就職 決定率		
国際学部	男	20	19	19	100.0	0	1	20	18	18	100.0	0	2
	女	83	75	73	97.3	2	6	72	64	64	100.0	3	5
	計	103	94	92	97.9	2	7	92	82	82	100.0	3	7
情報科学部	男	155	89	88	98.9	63	3	192	100	97	97.0	79	13
	女	40	38	38	100.0	1	1	30	26	25	96.2	2	2
	計	195	127	126	99.2	64	4	222	126	122	96.8	81	15
芸術学部	男	14	5	4	80.0	3	6	17	10	7	70.0	1	6
	女	77	39	34	87.2	17	21	68	30	27	90.0	22	16
	計	91	44	38	86.4	20	27	85	40	34	85.0	23	22
合 計	男	189	113	111	98.2	66	11	229	128	122	95.3	80	21
	女	200	152	145	95.4	20	27	170	120	116	96.7	27	23
	計	389	265	256	96.6	86	38	399	248	238	96.0	107	44

(イ) 大学院生(博士前期課程)

(単位:名、%)

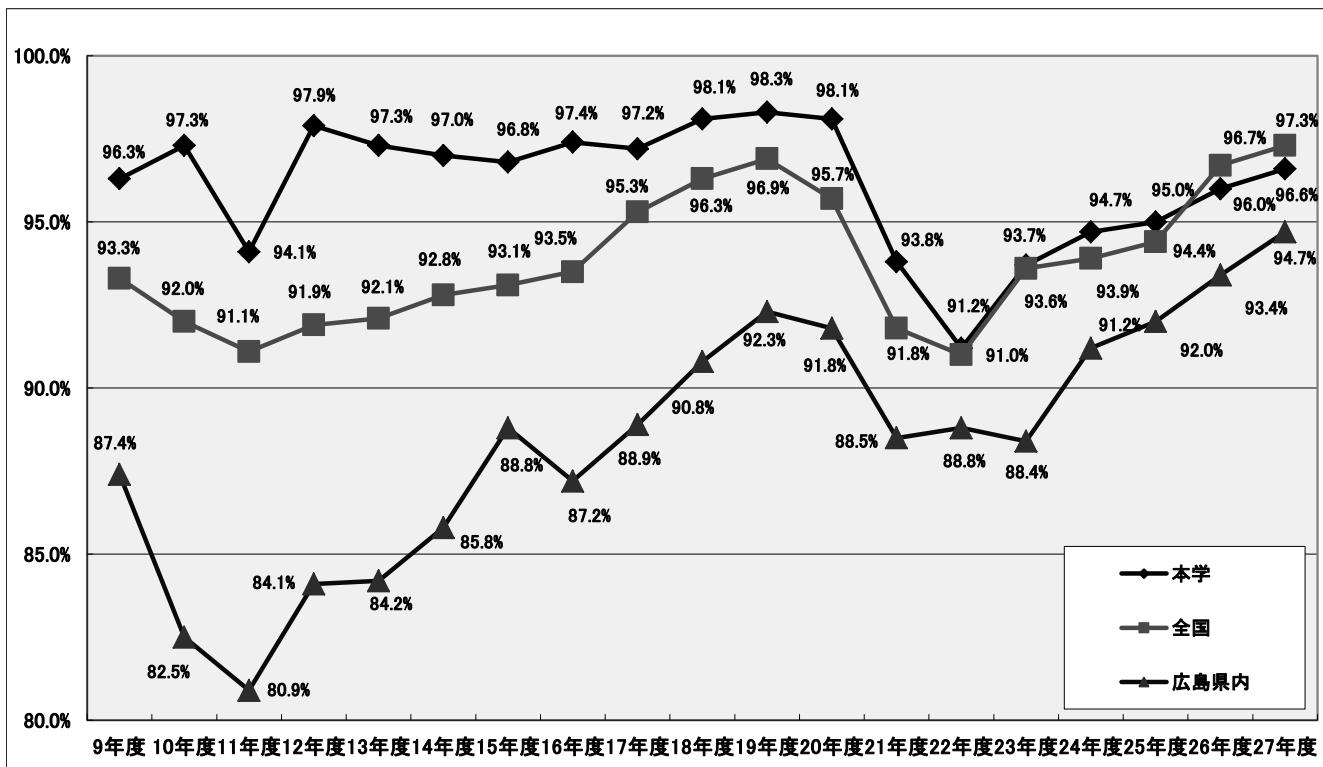
区 分		(A+C+D) 修 了 者	就職希望者			進学者 (C)	進学・就職以外 の者 (D)	前 年 度(H27年3月卒)					
			希望者 (A)	就職者 (B)	就職 決定率 (B/A× 100)			修 了 者	就職希望者			進 学 者	進学・就職以外 の者
									希望者	就職者	就職 決定率		
国際学研究科	男	6	3	3	100.0	1	2	8	2	1	50.0	5	1
	女	6	2	2	100.0	0	4	4	1	1	100.0	1	2
	計	12	5	5	100.0	1	6	12	3	2	66.7	6	3
情報科学研究科	男	79	75	75	100.0	2	2	60	59	59	100.0	1	0
	女	2	2	2	100.0	0	0	9	9	9	100.0	0	0
	計	81	77	77	100.0	2	2	69	68	68	100.0	1	0
芸術学研究科	男	8	2	1	50.0	0	6	11	3	3	100.0	3	5
	女	17	6	5	83.3	2	9	23	11	6	54.5	2	10
	計	25	8	6	75.0	2	15	34	14	9	64.3	5	15
合 計	男	93	80	79	98.8	3	10	79	64	63	98.4	9	6
	女	25	10	9	90.0	2	13	36	21	16	76.2	3	12
	計	118	90	88	97.8	5	23	115	85	79	92.9	12	18

(参考)学部生の就職率比較【平成28年4月1日現在】

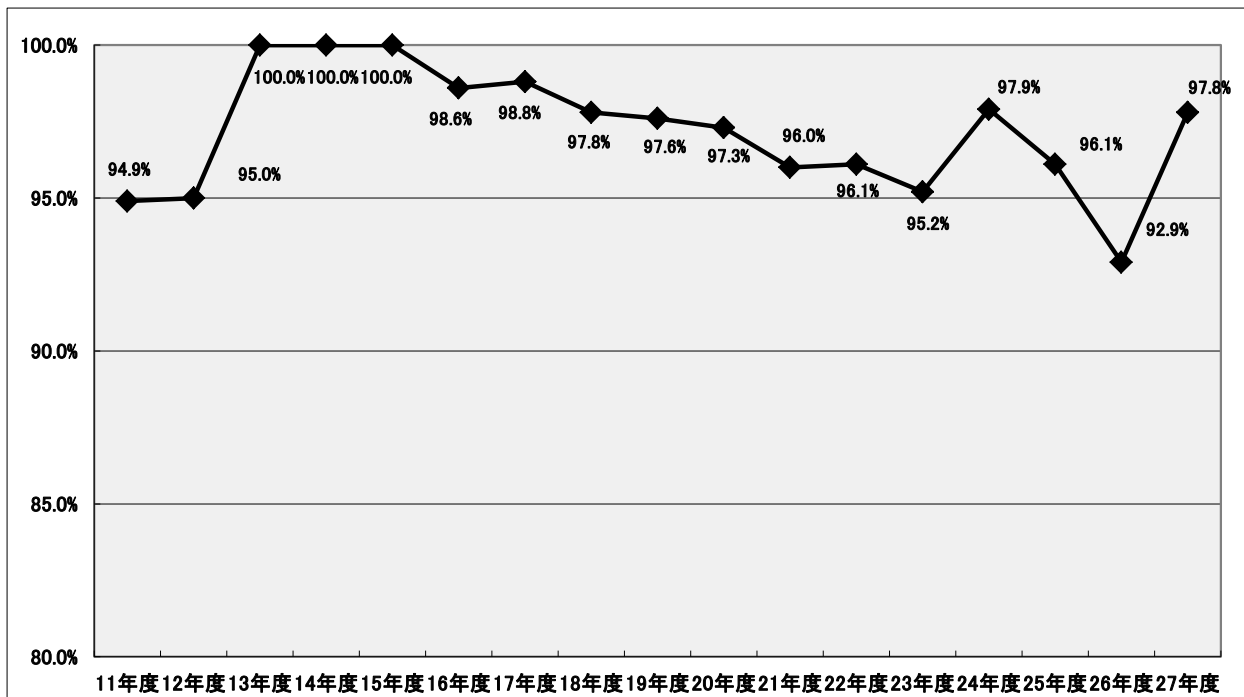
区 分	就職率	備 考
広島市立大学	96.6%	
広 島 県	94.7%	広島労働局
全 国	97.3%	文部科学省・厚生労働省調査

イ 就職率の推移(平成9年度～平成27年度)

(7) 学部



(イ) 大学院

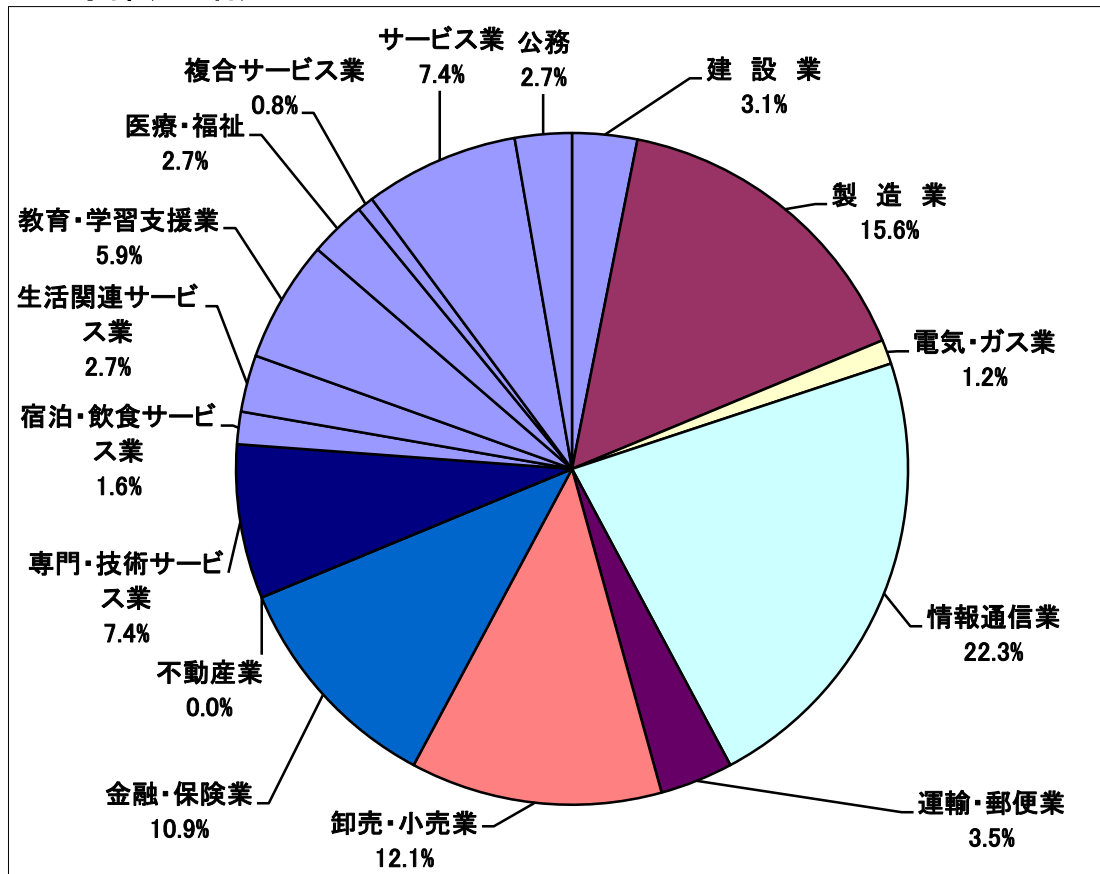


(2) 就職先の構成比

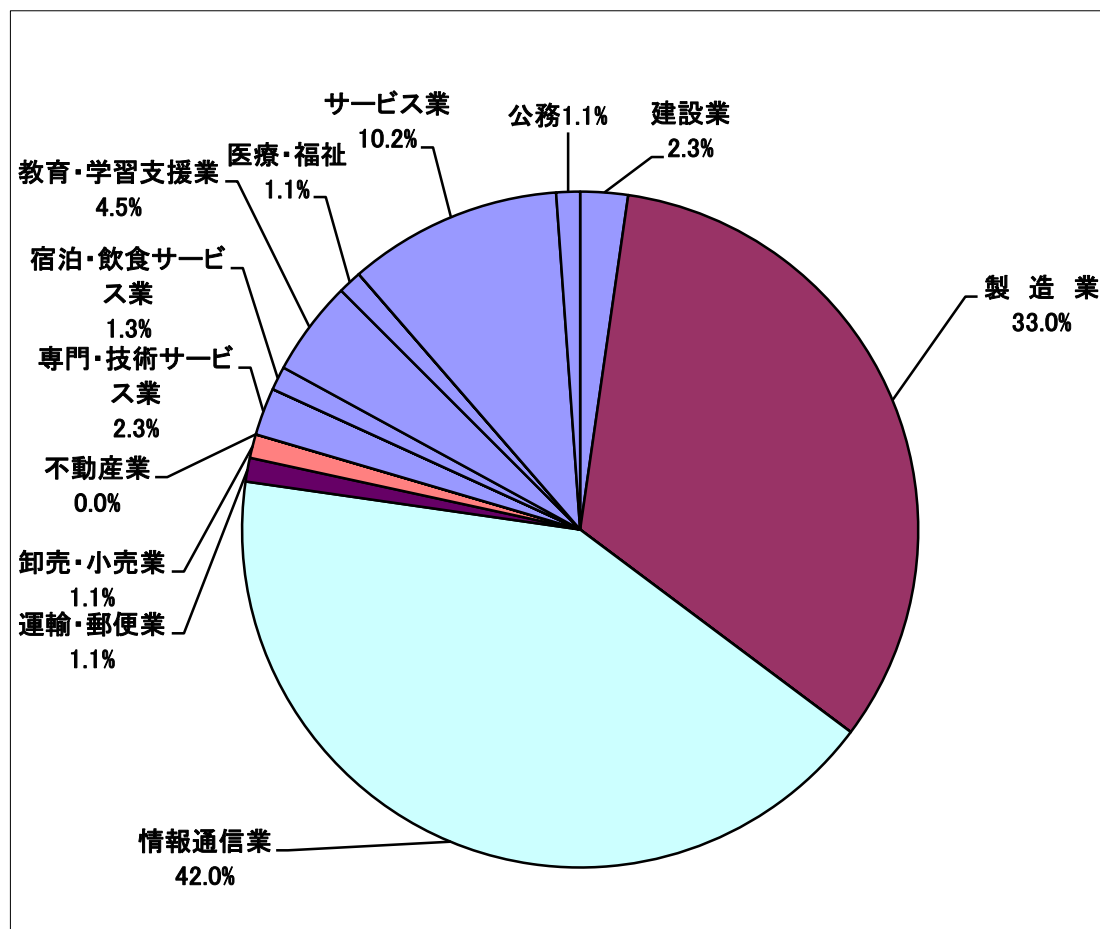
ア 業種別

(ア) 平成27年度卒

a 学部(256名)



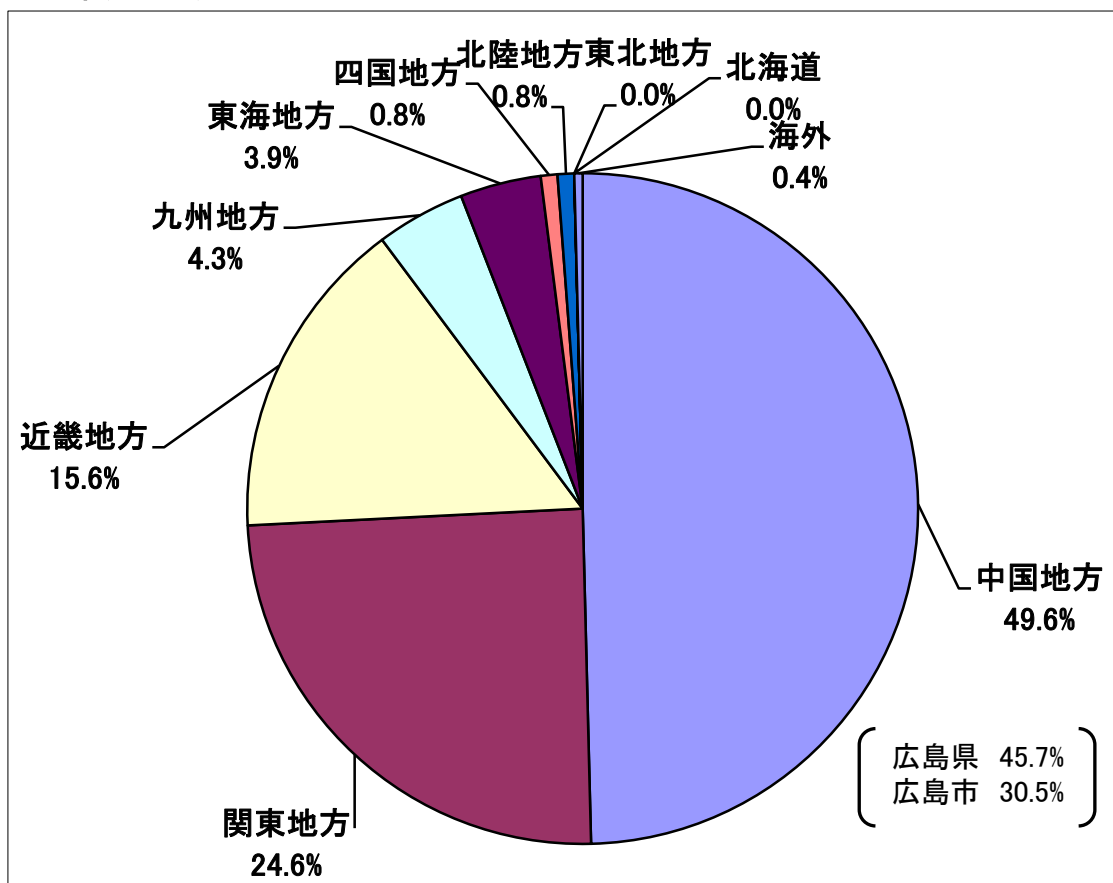
b 大学院(88名)



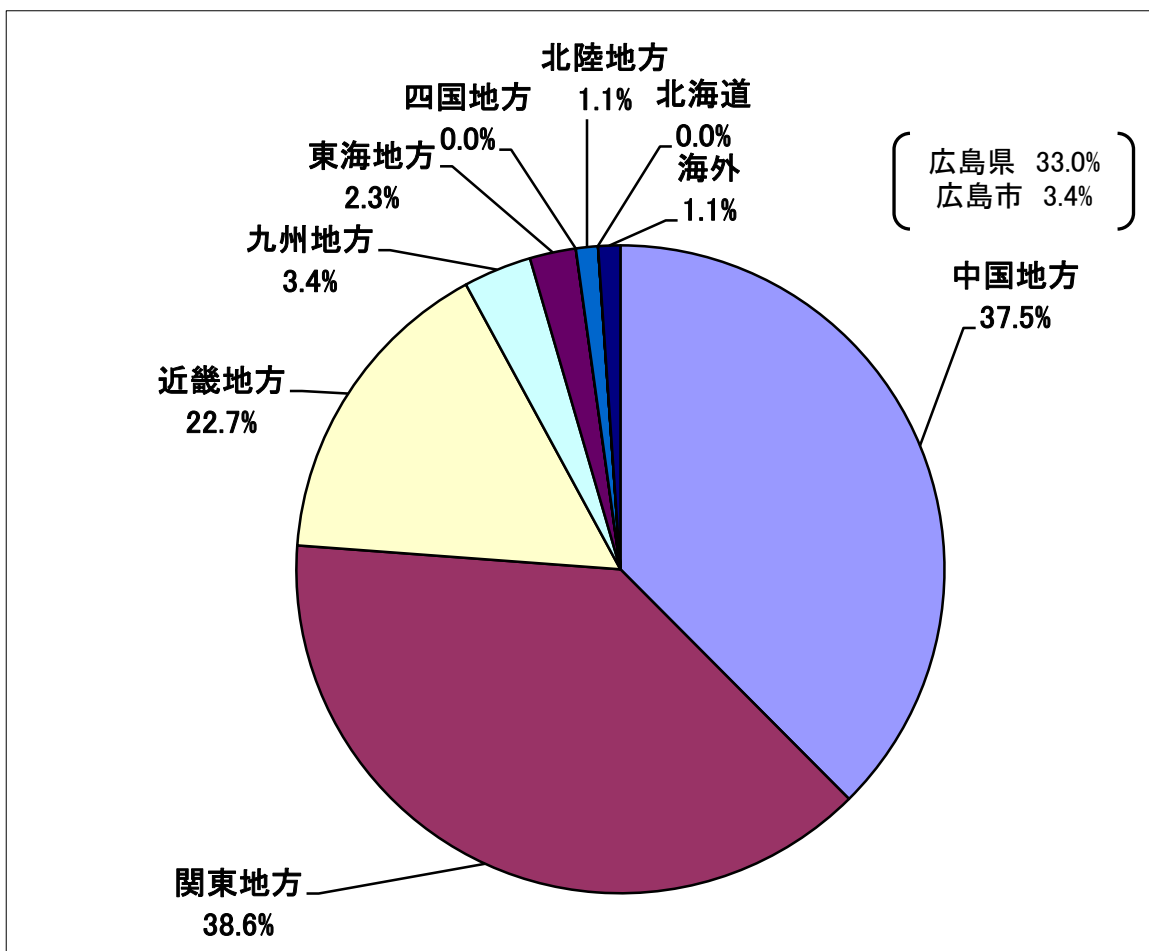
イ 地域別

(7) 平成27年度卒

a 学部(256名)



b 大学院(88名)



(3) 就職先企業等一覧

ア 平成27年度 国際学部及び国際学研究科(大学院)

H28.4.1現在

就職先企業名等

《広島県内地域》35社38名

- ・(株)石崎本店(広島市)
- ・(株)ウッドワン(広島県)
- ・(株)エデュコム(広島県)
- ・(株)鷗州コーポレーション(広島市)
- ・呉農業協同組合(広島県)
- ・(株)サコダ車輛(広島市)
- ・三光電業(株)(広島市)
- ・山陽マシン(株)(広島県)
- ・(株)スペースエイジ(広島市)
- ・社会福祉法人成城会(広島県)
- ・(株)ダイキエンジニアリング(広島県)
- ・(株)大和エンジニアリング(広島市)
- ・テラル(株)(広島県)
- ・トウショク(株)(広島県)
- ・東洋観光(株)(広島市)
- ・(株)21(広島市)
- ・西川ゴム工業(株)(広島市)
- ・(株)広島銀行(広島市)
- ・広島県共済(広島市)
- ・広島市役所(広島市)3名
- ・広島市農業協同組合(広島市)
- ・広島トヨタ自動車(株)(広島市)
- ・一般社団法人広島平和構築人材育成センター(広島市)
- ・(株)ヒロテック(広島市)
- ・備後通運(株)(広島県)
- ・(株)フォーデック(広島市)
- ・(株)フレスタ(広島市)
- ・マツダ(株)(広島県)2名
- ・マツダエース(株)(広島県)
- ・(株)もみじ銀行(広島市)
- ・(株)メンテックワールド(広島県)
- ・(株)モルテン(広島市)
- ・(株)やしま(広島市)
- ・(株)安西事務機(広島市)
- ・(株)吉田(広島市)

《関東地域》31社33名

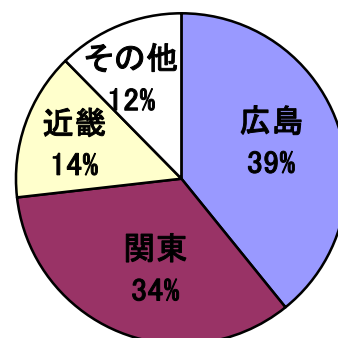
- ・(株)あおぞら銀行(東京都)
- ・(株)大塚商会(東京都)
- ・ANAエアサポートサービス(株)(東京都)
- ・(株)イーオン(東京都)2名
- ・SMBC日興証券(株)(東京都)
- ・(株)オービックビジネスコンサルタント(東京都)
- ・オリンパスメディカルサイエンス販売(株)(東京都)
- ・(株)コナポンコーポレーション(東京都)
- ・三機工業(株)(東京都)
- ・(株)ジェイック(東京都)
- ・(株)JALマイレージバンク(東京都)
- ・(株)商工組合中央金庫(東京都)
- ・(株)人材研究所(東京都)
- ・損害保険ジャパン日本興亜(株)(東京都)
- ・東京海上日動火災保険(株)(東京都)2名
- ・(株)東京コンサルティングファーム(東京都)
- ・(株)ニチイケアパレス(東京都)
- ・日本年金機構(東京都)
- ・(株)ネオキャリア(東京都)
- ・富士貿易(株)(神奈川県)
- ・ブレンバンク(株)(東京都)
- ・(株)ベンチャーバンク(東京都)
- ・(株)みずほフィナンシャルグループ(東京都)
- ・三井住友海上火災保険(株)(東京都)
- ・三菱電機ビルテクノサービス(株)(東京都)
- ・明治安田生命保険(相)(東京都)
- ・メディカル・ケア・サービス(株)(東京都)
- ・(株)ヤマノホールディングス(東京都)
- ・(株)ユーシン(東京都)
- ・(株)USEN(東京都)
- ・リレーションズ(株)(東京都)

《近畿地域》12社14名

- ・アイオ(株)(兵庫県)
- ・(株)あきんどスシロー(大阪府)
- ・小林産業(株)(大阪府)
- ・CKTS(株)(大阪府)
- ・住友生命保険(相)(大阪府)
- ・高見(株)(京都府)
- ・西日本高速道路サービス・ホールディングス(株)(大阪府)
- ・日本生命保険(相)(大阪府)3名
- ・(株)阪急交通社(大阪府)
- ・(株)船井総合研究所(大阪府)
- ・ラッキーコーヒーマシン(株)(兵庫県)
- ・(株)りそな銀行(大阪府)

《その他地域》12社12名

- ・(株)アミティー(岡山県)
- ・(株)伊予銀行(愛媛県)
- ・(株)愛媛銀行(愛媛県)
- ・広東軽工職業技術学院(中国)
- ・(株)ジー・アカデミー(愛知県)
- ・(株)テクノアイ(愛知県)
- ・(株)天満屋ストア(岡山県)
- ・豊通物流(株)(愛知県)
- ・浜友観光(株)(静岡県)
- ・ホテルタッシェンベルグパレ ケンピンスキードレスデン(ドイツ)
- ・(株)プリント・ラボ(島根県)
- ・(株)マキタ(愛知県)



(注)所在地により地域別に整理

就職先企業名等

《広島県内地域》51社87名

- ・(株)アイ・エム・シーユナイテッド(広島市)
- ・(株)アクトシステムズ(広島県)
- ・(株)アンフィニ広島 (広島市)
- ・(株)ウッドワン(広島県)2名
- ・NSウエスト(広島市)
- ・(株)エネルギア・コミュニケーションズ(広島市)11名
- ・(株)エヌ・ティ・ティ・データ中国(広島市)2名
- ・(株)鷗州コーポレーション (広島市)
- ・応原工業(株)(広島県)
- ・(株)九動(広島県)
- ・(株)熊平製作所(広島市)
- ・呉信用金庫(広島県)
- ・(株)呉電子計算センター(広島県)4名
- ・クロスイメージング(株)(広島市)
- ・(株)ケーシーエス(広島県)
- ・(株)コトブキソリューション(広島県)2名
- ・(株)サタケ(広島県)
- ・佐竹電機(株)(広島県)3名
- ・新川電機(株) (広島市)2名
- ・(株)新星工業社(広島市)
- ・(株)正宝(広島市)
- ・(株)ソルコム(広島市)2名
- ・(株)ダイキエンジニアリング(広島県)
- ・田中電機工業(株)(広島市)
- ・中国電力(株)(広島市)3名
- ・(株)中電工(広島市)
- ・(株)TSSソフトウェア(広島市)2名
- ・(株)テクノクラーツ(広島市)4名
- ・テンパール工業(株)(広島市)2名
- ・日本アイビーエム中国ソリューション(株)(広島市)2名
- ・(株)HIVEC(広島県)
- ・(株)ピーシーシー(広島県)
- ・(株)日立インフォメーションエンジニアリング(広島県)
- ・(株)日立ソリューションズ西日本(広島市)2名
- ・広島医療生活協同組合(広島市)
- ・広島県教育委員会 (高校数学)(広島県)
- ・広島市農業協同組合(広島市)
- ・広島市役所(広島市)2名
- ・広島信用金庫(広島市)
- ・広島トヨペット(株)(広島市)
- ・ヒロコン(株)(広島市)
- ・(株)ヒロテック(広島市)2名
- ・福山市役所(広島県)
- ・(株)マイティネット(広島市)2名
- ・マツダ(株)(広島県)2名
- ・(株)マツダE&T(広島市)3名
- ・マツダエース(株)(広島県)
- ・(株)ミウラ(広島市)2名
- ・山脇歯科(広島市)
- ・リコージャパン(株) (広島市)

《関東地域》47社58名

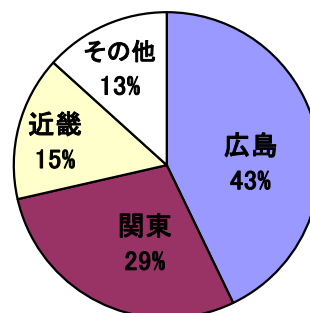
- ・(株)アルトナー(東京都)3名
- ・(株)アルプス技研(神奈川県)2名
- ・イオンリテール(株)(千葉県)
- ・医療システムズ(株)(東京都)
- ・ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)(東京都)
- ・NECソリューションイノベータ(株)(東京都)2名
- ・NTTコムソリューションズ(株)(東京都)
- ・(株)オプティマ(東京都)
- ・海洋電子工業(株)(神奈川県)2名
- ・協栄産業(株)(東京都)
- ・(株)クロステレビ(東京都)
- ・KDDI(株)(東京都)
- ・(株)コア(東京都)2名
- ・コンチネンタル・オートモーティブ(株)(神奈川県)
- ・(株)JIEC(東京都)
- ・シグマトロン(株)(東京都)
- ・総合警備保障(株)(東京都)
- ・(株)ソフト開発(東京都)
- ・第一生命保険(株)(東京都)
- ・大和証券(株)(東京都)
- ・(株)テクノスジャパン(東京都)
- ・(株)テクノプロ(東京都)
- ・東京コンピュータサービス(株)(東京都)2名
- ・東芝システムテクノロジー(株)(東京都)
- ・凸版印刷(株)(東京都)
- ・(株)トッパン・テクニカル・デザインセンター(東京都)
- ・日機装(株)(東京都)
- ・(株)日本製鋼所(東京都)
- ・日本電気(株) NEC(東京都)2名
- ・日本プロセス(株)(東京都)
- ・農中情報システム(株)(東京都)
- ・日立INSソフトウェア(株)(神奈川県)
- ・日立コンシューマ・マーケティング(株)(東京都)
- ・(株)日立ソリューションズ・クリエイト(東京都)
- ・富士ソフト(株)(神奈川県)
- ・富士通(株)(神奈川県)2名
- ・富士通ネットワークソリューションズ(株)(神奈川県)
- ・(株)富士通ミッションクリティカルシステムズ(神奈川県)3名
- ・ボッシュ(株)(東京都)
- ・マイクロメモリジャパン(株)(東京都)
- ・ミハル通信(株)(神奈川県)
- ・(株)ミライト(東京都)
- ・(株)ユーエスイー(東京都)
- ・UTグループ(株)(東京都)
- ・UTリーディング(株)(東京都)
- ・(株)リクルートホールディングス(東京都)

《近畿地域》19社31名

- ・IMV(株)(大阪府)
- ・(株)アスパーク(大阪府)3名
- ・アトラス情報サービス(株)(大阪府)
- ・(株)エコリング(兵庫県)
- ・エヌ・ティ・ティスマートコネク(株)(大阪府)
- ・(株)エヌ・ティ・ティネオメイト(大阪府)
- ・(株)NTTフィールドテクノ(大阪府)
- ・京都府公立学校教員(高等学校数学)(京都府)
- ・京都府警察本部(京都府)
- ・公益社団法人京都保健会 京都協立病院(京都府)
- ・(株)コスモネット(京都府)
- ・ダイハツ工業(株)(大阪府)
- ・西日本電信電話(株) NTT西日本(大阪府)2名
- ・西日本旅客鉄道(株) JR西日本(大阪府)3名
- ・パナソニックアドバンステクノロジー(株)(大阪府)8名
- ・福西電機(株)(大阪府)
- ・三菱電機コントロールソフトウェア(株)(兵庫県)
- ・メルコ・パワー・システムズ(株)(兵庫県)
- ・(株)栗菱コンピュータズ(大阪府)

《その他地域》26社27名

- ・旭興産(株)(山口県)
- ・(株)アテック(愛知県)
- ・(株)アドバンス・インフォメーション・デザイン(長野県)2名
- ・アネックスソフト(株)(岡山県)
- ・(株)NBSロジソル(大分県)
- ・遠州信用金庫(静岡県)
- ・(株)オーイーシー(大分県)
- ・(株)個別指導塾スタンダード(福岡県)
- ・(株)ジェイ・エス・エス (石川県)
- ・生活協同組合コープおおいた(大分県)
- ・(株)成通(ハリウッドチェーン)(岡山県)
- ・ソニーセミコンダクタ(株)(熊本県)
- ・(株)ソフトサービス(福岡県)
- ・(株)中国銀行(岡山県)
- ・(株)テクノプロジェクト(島根県)
- ・デンソーテクノ(株)(愛知県)
- ・東海旅客鉄道(株)(愛知県)
- ・(株)NICS(岡山県)
- ・日本ソフト開発(株)(滋賀県)
- ・日本特殊陶業(株)(愛知県)
- ・NETCITYS(株)(岡山県)
- ・半田電設工業(株)(福岡県)
- ・(株)両備システムズ(岡山県)
- ・(株)両備システムソリューションズ(岡山県)
- ・(株)ワールドインテック(福岡県)



(注)所在地により地域別に整理

就職先企業名等

《広島県内地域》19社21名

- ・社会福祉法人 IGL学園福祉会(広島市)
- ・安芸宣興(株)(広島市)
- ・(株)インターロジック(広島市)
- ・ウェル・ユーカン(株)(広島市)
- ・(株)オガワ(広島市)
- ・呉信用金庫(広島県)
- ・三共ディスプレイ(株)(広島県)2名
- ・(株)ジェイアールサービスネット広島(広島市)
- ・シェラトンホテル広島(広島市)
- ・シグマ(株)(広島県)2名
- ・(株)シナジー(広島市)
- ・(有)島津漆工房(広島県)
- ・創建ホーム(株)(広島県)
- ・大昌工芸(株)(広島市)
- ・(株)西井製作所(広島県)
- ・広島県公立学校教員(広島県)
- ・(株)福屋(広島市)
- ・(株)モーツアルト(広島県)
- ・(株)ユーマス(広島市)

《関東地域》6社6名

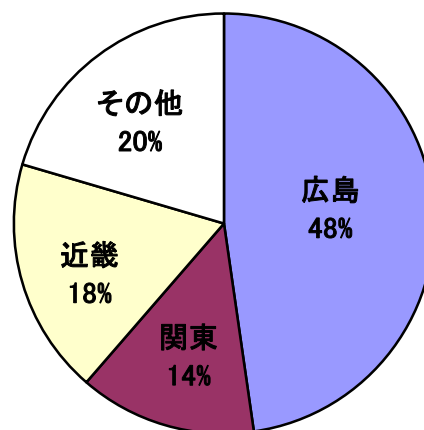
- ・(株)KEIアドバンス(東京都)
- ・(株)スタジオワイエス(東京都)
- ・(株)電通クリエイティブX(東京都)
- ・(株)プラトン(東京都)
- ・(株)空目金屋(東京都)
- ・(株)やまと(東京都)

《近畿地域》8社8名

- ・(株)キリン堂(大阪府)
- ・社会福祉法人 神戸婦人同情会(兵庫県)
- ・(株)コスモネット(京都府)
- ・(株)TASAKI(兵庫県)
- ・(株)ボックス(京都府)
- ・(株)宮帯(京都府)
- ・(株)ユークス(大阪府)
- ・UMA / design farm(大阪府)

《その他地域》8社9名

- ・安野光雅美術館(島根県)
- ・(株)コスモス薬品(福岡県)2名
- ・(株)Z会(静岡県)
- ・田川市美術館(福岡県)
- ・タンスのゲン(株)(福岡県)
- ・(株)ペンシル(福岡県)
- ・(株)墨仁堂(静岡県)
- ・(株)丸信(福岡県)



(注)所在地により地域別に整理

6 社会連携

(1) 産学官連携

ア 推進体制（平成 28 年 4 月 1 日時点）

◆社会連携センター

○産学官連携推進に係る学内外窓口

- ・企業等からの相談受付（共同研究、技術相談等）
- ・リエゾン活動（教員からの共同研究相手先企業等の開拓）
- ・受託研究、共同研究、助成金、奨学寄附金等受入
- ・他機関との連絡調整 等

○産学官連携コーディネーターの配置（平成 15 年度から）

○知的財産管理体制の構築

○知的財産マネージャーの配置（平成 17 年度から）

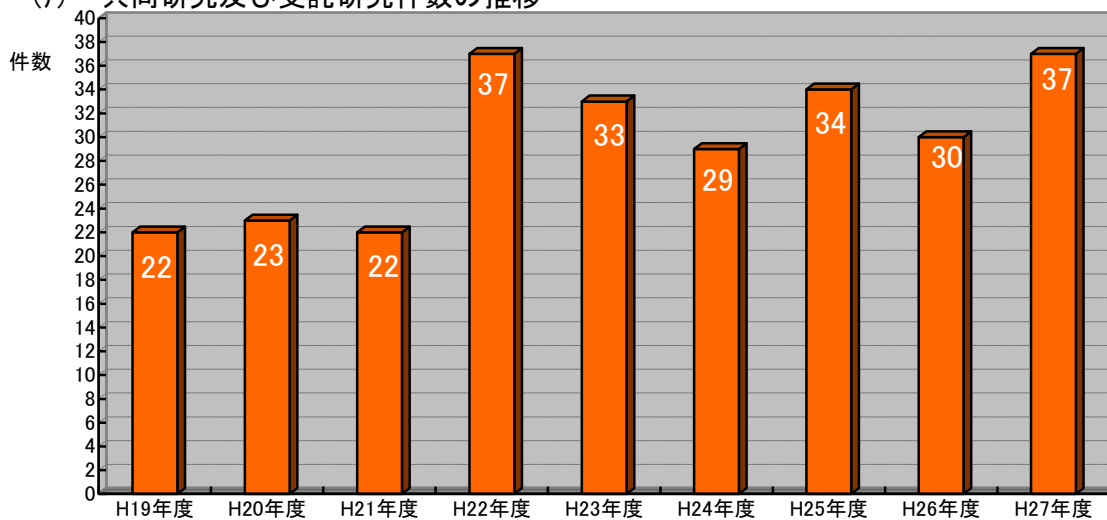
○社会連携センター設置（平成 19 年度 産学官連携推進室から移行）

○地域連携コーディネーターの配置（平成 20 年度から）

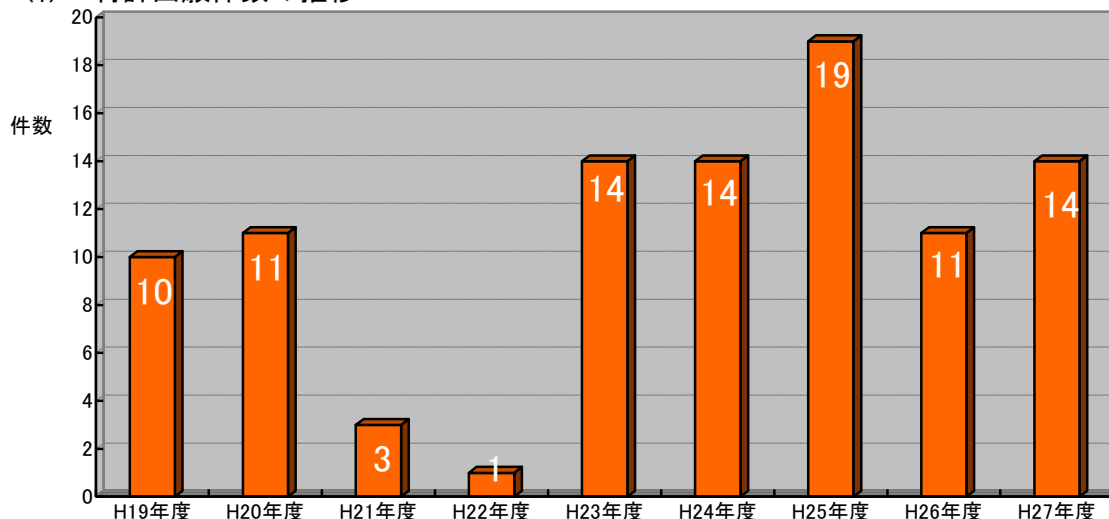
○社会連携コーディネーターの配置（平成 23 年度から）

イ 研究・事業等の実施状況（平成 19 年度～27 年度）

(ア) 共同研究及び受託研究件数の推移



(イ) 特許出願件数の推移



(ウ) 情報発信及び産学共同事業

◆広島市立大学産学連携研究発表会の開催

○平成 27 年度開催概要

日時：平成 27 年 9 月 10 日（木）13：00～16：30

場所：合人社ウエンディひと・まちプラザ（広島市まちづくり市民交流プラザ）
5 階研修室、4 階ギャラリー

<プログラム>

・講演会

基調講演：「広島で医工ゲノム・イニシアチブの創生を」

（広島大学医歯薬保健学研究科教授 岡本哲治）

研究者講演：「コンピュータシミュレーションでタンパク質のはたらきを理解する」

（情報科学研究科教授 鷹野優）

「マイクロ微細加工技術とそれの医用デバイス応用」

（情報科学研究科教授 式田光宏）

・マッチングセッション、交流会

〔出展：本学各研究室、本学社会連携センター、(公財)広島市産業振興センター、
(公財)ちゅうごく産業創造センター、広島商工会議所、(一社)広島県発明協会〕

<参加者>：H27 実績 150 名



講演会



マッチングセッション

◆広島市役所での地域貢献事業発表会

○平成 27 年度開催概要

日時：平成 27 年 11 月 13 日（金）12：00～15：30

場所：広島市役所 2F 講堂

<プログラム>

・講演：広島市との連携事業に関する教員及び市職員による事例発表

①広島市被爆 70 周年記念事業

猿猴橋復元のためのモデリングデータの作成及びデザイン監修

広島市道路交通局道路部街路課長

油野裕和

芸術学部教授

吉田幸弘

②広島市被爆 70 周年記念事業

上田宗箇流平和記念公園茶会

広島市市民局文化スポーツ部文化振興課課長補佐

藤井伸朗

芸術学部非常勤助教

長野佳嗣

③広島への外国人旅行者のための地域情報提供システムの開発

(公財)広島観光コンベンションビューロー観光振興部主幹
情報科学研究科准教授

蒲池清士
難波英嗣

- ・パネル等の展示

<参加者>：H27 実績 150名



事例発表



パネル展示

◆広島市立大学研究者紹介集(2015年度版)の発行(更新)

- ・ホームページ掲載
- ・CD版500部、冊子版200部、同要約版500部の更新・印刷配布

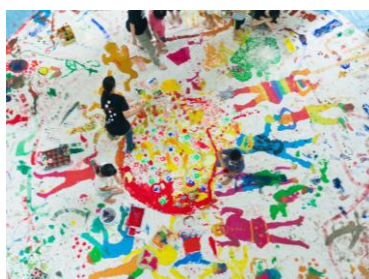
◆イベント出展

- ・6月15日：医療機器分野参入セミナー(於：広島)
- ・8月27,28日：イノベーションジャパン2015出展(於：東京)
- ・10月21,22,23日：ひろしまIT総合展(於：広島)
- ・11月5日：中国地域さんさんコンソ新技術説明会(於：東京)
- ・11月7日：電子デバイスセミナー(於：福山)
- ・11月17日：信用金庫合同ビジネスフェア(於：広島)
- ・2月8日：医療機器セミナー(於：広島)

(I) 産学協同事業(芸術学部)

◆キッズキャンパス(広島日野自動車株式会社)

広島日野自動車株式会社の協賛で、幼児・児童を対象とした美術講座を平成17年度から開催し、平成27年度で11年目を迎えました。こどもたちの創造性の育成と彼らを取り巻く環境をより良いものにすることを目標に、芸術学部の教員と学生がプロジェクトの運営と指導にあたっています。



(2) 地域連携

ア 公開講座

《平成27年度》

【国際学部開催分】

講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
<p>国際交流・協力の日に 合わせ開催している講座</p> <p>Visitorsから見た広島 〔(公財)広島平和文化センターが主催する 「国際交流・協力の日」の中のプログラム のひとつとして開催している講座。毎年、 国際学部研究交流委員会において企画し ている。〕</p>	<p>11/15 (日) * 国際交流・ 協力の日</p>	<p>1 回</p>	<p>広島国際会議場</p>	<p>無料</p>	<p>60 人</p>	<p>55 人</p>
<p>市大英語 e ラーニング講座</p>	<p>(第1期) 5/24～8/9 (第2期) 7/26～10/11 (第3期) 9/27～12/13</p>	<p>—</p>	<p>・ゆいぽーと ・市大グライ ット キャンパス ・市大語学センタ ー (第2期のみ)</p>	<p>リーディング・リスニング プログラム ・文法プロ グラム 18,200 円</p> <p>その他プロ グラム 各 5,000 円</p>	<p>各期 60 名</p>	<p>(第1期) 56 人 (第2期) 49 人 (第3期) 54 人</p>

〔情報科学部開催分〕

	講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
高校生向け	<p>講座名 高校生による情報科学自由研究</p> <p>素類のコンピュータと触れあおう／ネットワーク対応の組み込みマイコンをプログラミングしてみよう／無線LANで通信実験！空中を飛んでいるデータを捉えてみよう／物理学習用バーチャル実験室の作成／ビッグデータの科学 ソーシャルネットワーク入門／データに隠された知識をコンピュータで見つけよう-グラフ構造からのデータマイニング-／コンピュータで絵を作る。CGに挑戦！／商品紹介文に着目したフュージョンAIチームの自動分類／きれいに写真を大きくしよう！-超解像ってなに-／データの裏側を探れ！統計的データ解析 全10テーマ</p>	7～8月	随時	本学各研究室等	無料	1テーマ 5人程度	41人
実務者向け	<p>実践情報科学セミナー ①非接触3次元形状計測の基礎と要点 ②テキストマイニング：テキストからの情報発見</p>	①12/15 (火) ②12/21 (月)	各1回	本学サテライト キャンパス	① 無料 ②5,200円	各20人	①15人 ②7人
一般向け	<p>講演会 ①病気の診断に用いるアミノ酸計測装置の開発 ②どこでも見れる全天周視覚</p>	10/14 (水)	1回 (2講座)	本学サテライト キャンパス	無料	40人	9人

〔芸術学部開催分〕

	講座名	開催時期	回数	会場	受講料 (材料費別)	定員	受講者	
一般向け講座	日本画コース	9/7～11	全5回	本学アトリエ	10,200円	32人	28人	
	油絵コース	7/27～7/31	全5回	油絵(専門)	12,200円	15人	20人	
				油絵(一般)	12,200円	35人	14人	
				版画	12,200円	15人	15人	
	彫刻コース		7/29～8/2	全5回	本学工房	12,200円	10人	
	デザイン工芸コース		7/30～8/3	全5回	本学工房	10,200円	10人	10人
					金属	12,200円	9人	9人
					映像メディア造形	9,200円	10人	8人
	日本画コース		7/27, 28	全2回	本学アトリエ	7,200円	20人	16人
	油絵コース		8/3, 4	全2回	本学アトリエ	7,200円	20人	24人
彫刻コース		7/31～8/2	全3回	本学実習室	8,200円	20人	10人	
デザイン工芸コース		8/22, 23	全2回	本学実習室	6,200円	40人	53人	
サマースクール								

講座名	開催時期	回数	会場	受講料 (材料費別)	定員	受講者	
芸術学部社会人講座 (工芸・版画通年コース)	H27/4/14～ H28/1/22	—	本学工房	漆	212,000円/年 (週4日)	計10人 各分野若干名	0人
				金工	172,000円/年 (週3日)		5人
				染織	132,000円/年 (週2日)		3人
				版画	92,000円/年 (週1日)		9人
芸術学部社会人講座 (※夏季特別講座)	H27/8/7～ H27/9/30	—	本学工房	漆	42,400円 (週4日)	計10人 各分野若干名	0人
				金工	34,400円 (週3日)		2人
				染織	26,400円 (週2日)		1人
				版画	18,400円 (週1日)		8人

※夏季特別講座は通年コースの受講生のうち、希望者が受講する。

〔県立広島大学・広島市立大学連携公開講座〕

講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
ひろしま学を考える	7/8～7/29 (毎週水曜)	全4回	サテライトキャンパスひろしま (県立広島大学サテライトキャンパス)	無料	80人	106人
						82人
						74人
						67人
社会人のための英語 再チャレンジ	10/2～10/23 (毎週金曜)	全4回	本学サテライトキャンパス	無料	40人	37人
						31人
						27人
						28人

〔広島平和研究所開催分〕

講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
第二次世界大戦とは何だったのか 日独伊枢軸と敗戦そして新憲法 他者の戦争経験へのまなざし—フィリピンの 日本人戦犯問題をめぐって サンフランシスコ平和条約—冷戦の中の講和 と賠償 日本における戦時核開発と原爆投下の衝撃	6/12～7/9 (毎週金曜日)	全5回	まちづくり市民交流 プラザ (袋町)	無料	100人	122人
						119人
						106人
						106人
						109人
						102人
『国際社会』と日本のあゆみ 戦後日本の『平和』の構造 戦後70年のあゆみと論点—ドイツの例から 戦後の軍縮と国際法—条約交渉枠組みから 戦後の核軍縮と被爆体験—被爆地の役割	11/6～12/11 (期間中11/27を 除く金曜日)	全5回	合人社ウエンデー ひと・まちプラザ (袋町)	無料	100人	93人
						92人
						86人
						91人
						91人
						91人

講座名	開催時期	回数	場所	受講料	定員	受講者
英語による市民講座	Democracy and Peace in Myanmar since the 2010 Elections	全4回	本学サテライト キャンパス	無料	40人	23人
	Highlighting the G7 Lúbeck Statement on Non-Proliferation and Disarmament					25人
	Japanese Perceptions of Territorial Disputes: Opinion Poll Surveys in the Southwestern Part of Japan					14人
	The Global Hibakusha Project: Connecting Young People in Radiation Affected Communities					24人
研究フォーラム	アトムを巡る旅—カナダ・グレートベア湖からヒロシマへ	1回	本学サテライト キャンパス	無料	40人	24人
	ホーストリア平和政策の焦点—ウイーン会議からNPT再検討会議を経て見えてくる軍縮	1回	本学サテライト キャンパス	無料	40人	33人
	「千の丘の国」ルワンダー虐殺の過去と共生の模索	1回	本学サテライト キャンパス	無料	40人	48人
	朝鮮半島の行方と北東アジアの平和	1回	本学サテライト キャンパス	無料	40人	27人
国際シンポジウム	7/20	1回	広島国際会議場 地下2階 ヒマワリ	無料	450人	250人
	被爆70年—核兵器廃絶と被爆体験の継承を 考える					

イ その他の事業

- ◆ 行政課題解決への協力
 - ・広島発高齢者見守り支援システム開発プロジェクト
 - ・基町プロジェクト（平成25年7月広島市策定「基町住宅地区活性化」に掲げるにぎわい再生事業）
 - ・「ヒロシマにさわろう～手でさわる平和記念公園の制作～」に係る触察展示物に関する研究 など
- ◆ NPO、市民などとの協働事業
 - ・学生による社会貢献型自主プロジェクト事業
 - ・キッズキャンパス（㈱広島日野自動車との産学協同事業）
 - ・広島市被爆70周年記念事業 猿猴橋復元のためのモデリングデザイナーの作成及びデザイナー監修
 - ・「光の肖像展」開催 など

ウ 広島市等の審議会委員等の就任状況（平成27年度に任期が含まれたものを対象）

【理事長・学長、理事・副学長、副理事】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	公益財団法人広島市産業振興センター	評議員	理事 (副学長)	青木信之	H24. 4. 1	～ ※1
広島市	公益財団法人広島市文化財団	理事	理事長 (学長)	青木信之	H26. 4. 1	～ ※2
広島市	公益財団法人広島観光コンベンションビューロー	評議員	理事長 (学長)	青木信之	H27. 6. 11	～ ※3
広島市	公益財団法人広島平和文化センター	評議員	理事長 (学長)	青木信之	H27. 6. 12	～ ※4
広島市	彫像・記念碑等の設置審査委員会	委員	理事 (副学長)	前川義春	H27. 7. 10	～ H29. 7. 9
その他	公益財団法人もみじ銀行育英会	評議員	理事長 (学長)	青木信之	H25. 4. 23	～ ※5
その他	公益財団法人大学基準協会	評議員	理事長 (学長)	青木信之	H25. 6. 1	～ ※5
その他	広島シンガポール協会	理事	理事長 (学長)	青木信之	H26. 6. 2	～ ※6
その他	公益財団法人ヒロシマ平和創造基金	理事	理事長 (学長)	青木信之	H26. 6. 12	～ ※7
その他	財団法人放射線影響研究所	広島地元連絡協議会委員	理事長 (学長)	青木信之	H27. 4. 1	～ H29. 3. 31
その他	一般社団法人公立大学協会第3委員会	委員	理事長 (学長)	青木信之	H27. 5. 26	～ ※8
その他	公益財団法人ひろしん文化財団	理事	理事長 (学長)	青木信之	H27. 5. 26	～ ※9
その他	一般社団法人教育ネットワーク中国	理事	理事長 (学長)	青木信之	H27. 6. 23	～ ※10
その他	一般社団法人教育ネットワーク中国	教学委員会委員	理事 (副学長)	前川義春	H27. 4. 1	～ H28. 3. 31

※1 平成28年5月開催の定時評議会終結の時まで

※2 登記を行った日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで

※3 平成31年定時評議員会の終結の時まで

※4 平成30年度に関する定時評議員会の終結の日まで

※5 平成27年度に関する定時評議員会の終結の日まで

※6 平成26年度に関する定時総会の終結の時まで

※7 平成28年6月開催の評議員会終結の時まで

※8 平成29年度定時総会まで

※9 選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

※10 平成29年6月の定例社員総会の日まで

【国際学部】

	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島県	広島県	広島県商工労働局補助金審査会電子マネー方式プレミアム付き商品券発行モデル事業部会委員	教授	二村英夫	H27. 5. 1	～ H28. 3. 31
広島市	広島市市民局人権啓発部人権啓発課	広島市多文化共生市民会議委員	教授	ヴェール・ウルリケ	H25. 9. 5	～ H29. 9. 4
その他	独立行政法人 日本学術振興会	科学研究費委員会専門委員	教授	岩井千秋	H27. 12. 1	～ H28. 11. 30
その他	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館	国立民族学博物館共同研究員	教授	宇野 昌樹	2028. 4. 1	～ H17. 3. 31
広島県	広島県総務課	広島県情報公開・個人情報保護審査会委員	教授	太田育子	H26. 12. 1	～ H28. 11. 30
広島市	広島県環境県民局学事課	広島県私立学校審議会委員	教授	太田育子	H26. 12. 24	～ H30. 12. 24
大竹市	大竹市市民生活部自治振興課	大竹市市民活動助成審査委員会	教授	金谷信子	承諾の日	～ H27. 9. 30
大竹市	大竹市	大竹市総合戦略推進会議委員	教授	金谷信子	H27. 7. 6	～ H32. 3. 31
その他	特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター	国際ロータリー第2710地区8・20広島市豪雨土砂災害復興支援金に係る職員の選考審査委員	教授	金谷信子	H26. 12. 2	～ H27. 6. 30
その他	公益財団法人広島市文化財団	公益財団法人広島市文化財団文化活動助成事業審査委員	教授	金谷信子	H27. 7. 20	～ H28. 3. 31
その他	独立行政法人 日本学術振興会	科学研究費委員会専門委員	教授	関村 誠	H27. 12. 1	～ H28. 11. 30
その他	特定非営利活動法人全国ラジオ体操連盟	特定非営利活動法人全国ラジオ体操連盟評議員	教授	曾根幹子	H25. 7. 1	～ H29. 6. 30
その他	公益財団法人大学基準協会	平成27年度大学評価委員会大学評価分科会第42群委員	教授	曾根幹子	H27. 4. 1	～ H28. 3. 31
その他	財団法人広島県教育事業団評議員	財団法人広島県教育事業団評議員	教授	曾根幹子	H25. 4. 1	～ H29. 3. 31
広島県	広島県教育委員会	広島県生涯学習審議会委員	教授	曾根幹子	H27. 8. 12	～ H27. 8. 11
その他	財団法人広島市スポーツ協会	広島市スポーツ振興基金選考委員会委員	教授	曾根幹子	H26. 4. 1	～ H30. 3. 31
広島市	広島市都市整備局都市機能調整部	広島市民球場運営協議会委員	教授	曾根幹子	H26. 11. 1	～ H28. 10. 31
広島市	広島市企画総務局公文書館	広島市公文書館運営委員会委員	教授	曾根幹子	H24. 12. 10	～ H30. 3. 31
国	広島地方裁判所	広島地方裁判所委員	教授	寺田英子	H25. 8. 1	～ H27. 7. 31
国	国土交通省中国地方整備局	中国地方整備局事業評価監視委員会委員	教授	寺田英子	H27. 6. 24	～ H29. 3. 31

広島県	広島県港湾振興課	広島県海域利用審査会委員	教授	寺田英子	H25.9.1	～	H29.8.31
広島県	広島県港湾振興課	広島県広島港地方港湾審議会委員	教授	寺田英子	H26.12.16	～	H28.12.15
広島市	広島市教育長	平成27年度広島市教科用図書採択審議会委員	教授	渡辺智恵	H27.5.7	～	H27.8.31
その他	広島大学附属高等学校	平成27年度広島大学附属高等学校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員	准教授	ト部匡司	H27.4.1	～	H28.3.31
その他	広島大学附属高等学校	平成28年度広島大学附属高等学校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員	准教授	ト部匡司	H28.4.1	～	H29.3.31
その他	公益財団法人広島市文化財団	ひろしまオペラ・音楽推進委員会委員	准教授	柿木伸之	H26.6.1	～	H30.5.31
その他	公益財団法人広島市文化財団	ひろしまオペラ・音楽推進委員会委員	准教授	城多 努	H28.4.1	～	H28.5.31
その他	北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター	共同研究員	准教授	シュラトフ・ヤロスラフ	H28.4.25	～	H30.3.31
三原市	三原市	三原市企画展覧会運営協議会委員	准教授	城市真理子	平成26年初回運営会議	～	H28.3.31
三原市	三原市教育委員会	三原市文化財保護審議会委員	准教授	城市真理子	H27.5.15	～	H29.4.30
その他	独立行政法人 日本学術振興会	科学研究費委員会専門委員	准教授	田川 玄	H27.12.1	～	H28.11.30
その他	独立行政法人日本学術振興会	委員・審査員・評価員就任（特別研究員等審査会専門委員及び国際事業委員会書面審査員・書面評価員）	准教授	吉江貴文	H27.8.1	～	H28.7.31
その他	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館	国立民族学博物館共同研究員	准教授	吉江貴文	H28.4.1	～	H29.3.31

【情報科学部】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	危機管理室災害対策課	広島市防災情報共有システムの構築及び運用・保守業務総合評価審査委員会の特別委員	教授	前田 香織	H28.3	～ H28.6
広島県	広島県 総務局 業務プロセス改革課	行政LAN・WANコラボレーション基盤等調達委員会委員	教授	前田 香織	H28.3	～ H29.3
国	独立行政法人日本学術振興会	先端科学(FoS)シンポジウム事業委員会日英先端科学(UK-Japan FoS)シンポジウム・プランニング・グループ・メンバー(PGM)	教授	日浦 慎作	H28.3.1	～ H29.2.28
その他	社会福祉法人広島県福祉事業団	再発防止委員会委員	教授	前田 香織	H27.9.18	～ H28.3.31
広島県	広島県立安西高等学校	広島県立安西高等学校実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究運営指導委員会委員	教授	井上 智生	H27.9.9	～ H28.3.31
その他	株式会社旭リサーチセンター(中国経済産業局受託業者)	IoT時代における共創環境検討委員会委員	准教授	井上 博之	H27.9.10	～ H28.2.29
その他	一般財団法人 日本規格協会	平成27年度AAL国内対応委員会委員	教授	田中 宏和	就任承諾日	～ H28.3.31
国	中国総合通信局	X帯無線航行レーダー帯域における気象レーダーの利用に関する調査検討会委員	准教授	高橋 賢	H27.7.3	～ H28.3.31
国	九州大学大学院システム情報科学府	博士後期課程学生アドバイザー委員	准教授	三村 和史	就任承諾日	～ H29.9.30
その他	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所	学術認証運営委員会委員	教授	前田 香織	H27.6.26	～ H27.3.31
広島県	広島県立広島井口高等学校	学校関係者評価委員会委員	准教授	内田 智之	H27.6.17	～ H28.3.31
その他	中国情報通信懇談会	中国情報通信懇談会 放送部会幹事	准教授	西 正博	H27.6.18	～ H28.3.31
広島市	広島市市民局市民安全推進課	広島市安全なまちづくり推進協議会委員	准教授	高野 知佐	H27.9.1	～ H29.8.31
国	総務省情報流通行政局地域通信振興課	地域情報化アドバイザー	教授	前田 香織	H27.6.26	～ H28.3.31
広島市	広島市都市整備局西風新都整備部	西風新都交通スマート化研究会委員	准教授	島 和之	就任承諾日	～ H28.3.31
その他	広島大学	グローバルサイエンスキャンパス事業 コンソーシアム会議委員	教授	井上 智生	H27.6.2	～ H28.3.31
広島県	総合技術研究所	広島県研究開発評価会議委員	教授	前田 香織	就任承諾日	～ H28.3.31
その他	株式会社 情報通信総合研究所	メディア融合時代の通信産業研究会委員	教授	前田 香織	H27.6.3	～ H28.3.31
その他	一般社団法人 組込みシステム技術協会	ETロボコン中四国地区大会 実行委員	教授	樋脇 治	H27.4.1	～ H28.3.31
その他	公益財団法人ひろしまベンチャー育成基金	公益財団法人ひろしまベンチャー育成基金理事	教授	矢野 卓雄	H27.6.4	～ H29.6.30
その他	地方独立行政法人 広島市立病院機構	広島市立リハビリテーション病院医療情報システム総合評価審査委員会委員	教授	竹澤 寿幸	H27.5	～ H27.8
その他	一般社団法人 広島県情報産業協会	広島インターネットビジネスソサイエティ部会顧問	准教授	井上博之	H27.4.1	～ H28.3.31
広島市	広島市水道局	広島市水道事業財務会計システムの再構築及び運用・保守業務総合評価審査委員会の特別委員	教授	北村俊明	H27.5下旬	～ H27.9中旬
その他	広島市立沼田高等学校	学校協力者会議委員	教授	井上智生	H27.4.1	～ H28.3.31
その他	安田女子中学高等学校	スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員	教授	井上智生	H27.4.1	～ H28.3.31
その他	広島市立美鈴が丘高等学校	平成27年度学校協力者会議委員	教授	松原行宏	H27.4.1	～ H28.3.31
その他	(株)情報通信総合研究所	メディア融合研究会 委員	教授	前田香織	H27.6.3	～ H28.3.31
広島県	広島県教育委員会	スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会委員	准教授	永山 忍	委嘱の日	～ H28.3.31
その他	公立大学法人県立広島大学	県立広島大学重点研究事業 審査部会委員	教授	竹澤 寿幸	承諾日	～ H27.5.8
その他	一般社団法人 組込みシステム技術協会	ETロボコン中四国地区大会 実行委員	准教授	井上博之	H27.4.1	～ H28.3.31
その他	広島県後期高齢者医療広域連合	広島県後期高齢者医療広域連合情報公開・個人情報保護審査会委員	教授	前田香織	H27.6.1	～ H29.5.31

広島市	広島市企画総務局	広島市情報政策アドバイザー・ボード委員	教授	前田香織	H27.4.1	～	H28.3.31
国	中国総合通信局	中国情報通信懇談会 運営委員	教授	吉田彰顕	H27.4.1	～	H28.3.31
広島市	広島市環境局	広島市環境影響評価審査会委員	教授	矢野卓雄	H27.5.10	～	H29.5.9
広島市	広島市教育委員会	広島市教育委員会人事・給与システム及び庶務事務システムの構築及び運用・保守業務(仮称)総合評価審査委員会特別委員	教授	前田香織	就任承諾日	～	H27.8.31
広島市	財団法人広島市産業振興センター	工業技術支援アドバイザー派遣事業に係るアドバイザー	教授	矢野卓雄	H27.4.1	～	H29.3.31
広島県	広島県	広島県個人情報保護審議会委員	教授	前田香織	H27.4.1	～	H29.3.31
広島市	広島市企画総務局	広島市特定個人情報保護評価に係る審査員	教授	前田香織	H27.4.1	～	H29.3.31
その他	専門学校コンピュータ教育学院	教育課程編成委員会委員	准教授	岩根 典之	H27.2.16	～	H29.2.15
広島県	広島県	個人情報保護審議会委員	教授	前田香織	H27.2.1	～	H27.3.31
国	総務省情報通信国際戦略局	クラウド等を活用したICT投資の促進に関する検討会委員	教授	前田香織	H27.1.26	～	H27.6.30
国	総務省情報通信国際戦略局	情報通信審議会委員	教授	前田香織	H27.1.6	～	H29.1.5
国	知的財産高等裁判所	東京高等裁判所、東京地方裁判所及び大阪地方裁判所所属の専門委員	教授	弘中哲夫	H26.10.1	～	H28.9.30
広島市	広島市教育委員会	広島市立図書館協議会委員	教授	竹澤寿幸	H26.10.1	～	H28.9.30
国	九州大学大学院システム情報科学府	博士後期課程学生アドバイザー委員	教授	日浦慎作	就任承諾日	～	H29.3.31
広島市	弓削商船高等専門学校	弓削商船高等専門学校運営諮問会議委員	教授	前田香織	就任承諾日	～	H28.3.31
広島市	広島市市民局市民安全推進課	広島市安全なまちづくり推進協議会委員	准教授	高野知佐	就任承諾日	～	H27.8.31
広島市	環境局環境保全課	広島市環境影響評価審査会委員	教授	矢野卓雄	就任承諾日	～	H27.5.9

【芸術学部】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	広島市市民局文化スポーツ部文化振興課	広島市ヒロシマ賞受賞者選考審議会委員	教授	南 昌伸	就任承諾日	～ H29年度中
広島市	広島市都市整備局都市計画課	広島市景観審議会委員	教授	吉田 幸弘	H26.10.20	～ H28.10.19
広島市	健康福祉局障害福祉部障害福祉課	広島市障害者施策推進協議会委員	教授	吉田 幸弘	H26.6	～ H28.5
広島市	都市整備局都市計画課	広島市都市デザインアドバイザー会議委員	教授	鰐澤 達夫	H26.5.26	～ H28.5.25
広島市	広島市都市整備局都市計画課	「広島市ひろしま街づくりデザイン賞受賞者選考審議会」審査委員	教授	及川 久男	H25.6.1	～ H29.5.31
広島市	広島市都市整備局都市計画課	「広島市ひろしま街づくりデザイン賞受賞者選考審議会」審査委員	准教授	柳 幸典	H25.6.1	～ H29.5.31
広島市	健康福祉局障害福祉部障害福祉課	「障害者ピースアートコンテスト」選考委員	講師	中村 圭	H27.11.7、H27.12.23、H28.2.6	
広島市	健康福祉局障害福祉部障害福祉課	「障害者ピースアートコンテスト」選考委員	講師	松尾 真由美	H27.11.7、H27.12.23、H28.2.6	
広島市	広島市健康福祉局高齢福祉部介護保険課	「ひろしま介護マイスター」ワッペンロゴマーク・デザイン選考アドバイザー	教授	吉田 幸弘	H27.8月下旬	～ H27.10月下旬
広島市	広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会	「第16回広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会」委員	教授	笠原 浩	H27.4.1	～ H29.3.31
広島市	広島市産業振興センター	「ひろしまグッドデザイン賞」選定委員	教授	吉田 幸弘	H27.4	～ H28.3.31
広島市	広島市産業振興センター	「ひろしまグッドデザイン賞」選定委員	講師	中村 圭	H27.4	H28.3.31
その他	独立行政法人日本学術振興会	科学研究費委員会専門委員	教授	伊東 敏光	H26.12.1	～ H27.11.30
その他	中国新聞社広告局	「広告季報審査会」審査員	教授	及川 久男		H27.12.2
その他	広島県高等学校美術連盟	「第14回広島県高等学校 絵画・彫刻コンクール」審査員	教授	伊東 敏光		H27.11.17
その他	公益財団法人広島市産業振興センター	平成27年度公益財団法人広島市産業振興センター技術職員(デザイン)採用試験における第1次試験審査員	教授	吉田 幸弘	H27.7.17	・ H27.7.26
その他	岩国市	「第59回岩国市美術展覧会」審査員	教授	大塚 智嗣	H27.10.8	～ H27.10.8
その他	東広島市教育委員会	「第28回東広島市美術展」審査員	教授	南 昌伸	H27.10.15	～ H27.10.15
その他	東広島市教育委員会	「第28回東広島市美術展」審査員	教授	海老 洋	H27.10.16	～ H27.10.16
その他	東広島市教育委員会	「第28回東広島市美術展」審査員	教授	及川 久男	H27.10.17	～ H27.10.17
その他	東広島市教育委員会	「第28回東広島市美術展」審査員	准教授	森永 昌司	H27.10.16	～ H27.10.16
その他	東広島市教育委員会	「第28回東広島市美術展」審査員	講師	田中 圭介	H27.10.15	～ H27.10.15
その他	公益財団法人 大学基準協会	平27年度大学評価委員会大学評価分科会第50群委員	教授	倉内 啓	H27.4.1	～ H28.3.31
その他	広島市立基町高等学校	広島市立基町高等学校協力者会議	教授	永見 文人	H27.4	～ H28.3.31
その他	広島県環境県民局	第3回新県美展(第67回広島県美術展)審査員	准教授	大塚 智嗣		H27.6.3
その他	広島県環境県民局	第3回新県美展(第68回広島県美術展)審査員	教授	吉田 幸弘		H27.6.2
その他	独立行政法人日本学術振興会	科学研究費委員会専門委員	教授	伊東 敏光	H26.12.1	～ H27.11.30

【平和研究所】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	公益財団法人広島平和文化センター	広島平和記念資料館展示検討会議委員	副所長	水本和実	就任承諾日 (H22. 5. 27)	～ H29. 3. 31
広島市	公益財団法人広島平和文化センター	広島平和記念資料館展示説明文執筆会議委員	副所長	水本和実	就任承諾日 (H25. 7. 11)	～ H30. 3. 31
広島市	公益財団法人広島平和文化センター	広島平和記念資料館展示説明文執筆会議委員	准教授	ロバート・ ジェイコブズ	就任承諾日 (H25. 7. 11)	～ H30. 3. 31
広島市	教育委員会青少年育成部育成課	青少年国際平和未来会議ヒロシマ2015実行委員会委員	副所長	水本和実	H27. 4. 3	～ H28. 3. 31
その他	財団法人放射線影響研究所	広島地元連絡協議会委員	所長	吉川 元	H27. 4. 1	～ H29. 3. 31
その他	公益財団法人日本国際問題研究所 軍縮・不拡散促進センター	平成27年度広島県委託「ひろしまレポート作成事業」委員	副所長	水本和実	H28. 1. 15	～ H28. 3. 31
その他	自治労広島県本部	広島地方自治研究センター理事	講師	河上暁弘	H27. 2. 1 H28. 2. 1	～ H28. 1. 31 ～ H29. 1. 31
その他	日本放送協会広島放送局	中国地方放送番組審議会委員	講師	高橋博子	H26. 5. 1	～ H28. 4. 30 (H27. 9. 30退任)
その他	長崎市（長崎原爆資料館被爆継承課）	長崎原爆遺跡調査検討委員会委員	講師	桐谷多恵子	H26. 7. 1 H27. 7. 1	～ H27. 6. 30 ～ 長崎市文化財 調査検討委員 会規則第4条に 規定する日

(3) 高大連携

ア 教育ネットワーク中国における高大連携（平成 27 年度）

◆中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」（備北地区）

実施日	曜日	開催時間	開催高校	内 容	人数	出席者
7/18	土	10:30 ~ 11:20	庄原格致高等学校	世界に向かって羽ばたこうー外国語学習のすすめ	28	【国際】岩井教授
		11:40 ~ 12:30			16	
7/24	金	13:00 ~ 13:50	三次高等学校	情報科学とサウンドデザイン	32	【情報】石光教授

イ 広島市教育委員会との高大連携講座（平成 27 年度）

◆情報科学分野

○講 座 名 「小型 Linux コンピュータによるセンサデータ取得とクラウドとの連携」

○参 加 者 市立高等学校生徒 7 名

○日 時 平成 27 年 12 月 12 日（土）9:00~18:00

○連携学部 情報科学部

○実施場所 広島市立広島工業高等学校（1号棟3階・制御実習室）

○内 容 名刺サイズの小型 Linux コンピュータ Raspberry Pi（ラズベリーパイ）2 と環境センサを使って温度・湿度・気圧のデータを I2C バス経由で取得し、インターネット上のクラウドサービスにデータをアップロードして活用するようなシステムを構築してみる。Linux や TCP/IP ネットワークの基本、また外部デバイスとの入出力やネットワーク通信のプログラムについて実習を用いて学習する。

実習 1 Linux のセットアップとネットワーク通信

実習 2 環境センサの接続と組み込みプログラミング

実習 3 クラウド環境のセットアップ

実習 4 クラウドへのデータのアップロード

実習 5 クラウドサービスの応用

講師：井上 博之 准教授

○講 座 名 「デジタル百葉箱の活用（設定編）・ワークショップ」

○参 加 者 市立高等学校生徒 5 名

○日 時 平成 28 年 3 月 24 日（木）10:00~12:00

○連携学部 情報科学部

○実施場所 広島市立広島工業高等学校（1号棟3階・制御実習室）

○内 容 温度、湿度、気圧、風向、風速、雨量などの気象データが計測できる複合型センサであるデジタル百葉箱の設定方法を学習し、その取得データを活用する。

講 義 デジタル百葉箱の活用（設定編）

実習 1 デジタル百葉箱をネットワークに接続してブラウザに表示させ各種設定をおこなう。

実習 2 データの取得をおこなう。

講師：井上 博之 准教授

◆美術分野

○講 座 名 「宮島ろくろ製作」

○参 加 者 市立高等学校生徒 14 名 市立高等学校教員 2 名

○日 時 平成 27 年 8 月 29 日（土）、30 日（日）、6 日（日）10:00~17:00

○実施場所 広島市立大学

○内 容 広島の伝統産業である宮島ろくろの技術を体験し、枳材で器（小皿）を制作する。宮島の伝統産業である宮島細工や宮島ろくろの誕生した歴史を踏まえ、木の性質や刃物（金属）、加工機械の特性などを理解しながら、ろくろの製作体験をする。制作を通して「ものづくり」が生まれる要因、技術の発展、必要性などを考える

ウ 高校での模擬授業の開催（平成 27 年度）

実施日	開催時間	場 所	内 容	対象者	人数	授業者
7/8（水）	14:25 ～ 15:55	広島県立祇園北高校	模擬授業（国際）	2年生	18	倉科（国際）
7/8（水）	14:25 ～ 15:55	広島県立祇園北高校	模擬授業（情報）	2年生	34	西（情報）
7/9（木）	13:30 ～ 14:50	広島県立広島皆実高校	模擬授業（国際）	2年生	21	池田（国際）
7/9（木）	13:30 ～ 14:50	広島県立広島皆実高校	模擬授業（情報）	2年生	14	中野（情報）
7/9（木）	14:10 ～ 15:55	広島県立広高校	模擬授業（情報）	1・2年生	46	永山（情報）
7/15（水）	14:25 ～ 15:45	広島市立基町高校	模擬授業（国際）	2年生	13	西田（国際）
7/15（水）	14:25 ～ 15:45	広島市立基町高校	模擬授業（芸術）	2年生	41	鰐澤（芸術）
10/6（火）	14:25 ～ 16:15	岡山県立倉敷南高校	模擬授業（国際）	2年生	79	古澤（国際）
10/21（水）	14:35 ～ 15:35	広島県立呉宮原高校	模擬授業（国際）	1・2年生	42	田川（国際）
10/21（水）	14:35 ～ 15:35	広島県立呉宮原高校	模擬授業（情報）	1・2年生	31	日浦（情報）
10/21（水）	14:35 ～ 15:35	広島県立呉宮原高校	模擬授業（芸術）	1・2年生	11	伊東（芸術）
10/21（水）	14:30 ～ 15:30	広島県立廿日市高校	模擬授業（情報）	1年生	16	石渡（情報）
10/21（水）	14:30 ～ 15:30	広島県立廿日市高校	模擬授業（芸術）	1年生	10	永見（芸術）
10/21（水）	11:00 ～ 12:00	広島市立美鈴が丘高校	模擬授業（国際）	2年生	31	大庭（国際）
11/5（木）	10:40 ～ 12:10	比治山女子高校	模擬授業（国際）	1・2年生	24	飯島（国際）
11/5（木）	10:40 ～ 12:10	比治山女子高校	模擬授業（情報）	1・2年生	24	石光（情報）
11/11（水）	12:50 ～ 15:40	安田女子高校	模擬授業（国際）	1年生	90	古澤（国際）
11/12（木）	14:20 ～ 15:10	広陵高校	模擬授業（情報）	2年生	32	日浦（情報）
11/16（月）	14:30 ～ 15:20	広島市立沼田高校	模擬授業（国際）	1・2年生	37	横山（国際）
11/20（金）	14:50 ～ 15:50	山口県立岩国高校	模擬授業（芸術）	2年生	5	藁谷（芸術）
11/25（水）	14:30 ～ 15:40	広島県立三原高校	模擬授業（国際）	1・2年生	25	田川（国際）
2/19（金）	13:00 ～ 15:00	広島県立安芸高校	模擬授業（情報）	2年生	37	弘中（情報）

(4) その他の連携（平成 27 年 4 月 1 日時点）

機関名	締結年月日	内容	備考
株式会社広島銀行	平成 17 年 12 月 20 日	相互協力に関する協定（具体的案件及び内容は、協議して定める。）	広島市立大学教育ローンに関する覚書（平成 19 年 10 月 31 日締結）
公益財団法人広島 平和文化センター	平成 20 年 9 月 30 日	相互協力に関する協定（具体的案件及び内容は、協議して定める。）	財団法人広島平和文化センターが所管する「ヒロシマ・ピース・ボランティアを対象とした広島市立大学の授業公開等に係る覚書」（平成 16 年 9 月 30 日締結）
広島修道大学	平成 21 年 2 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の教育に関すること ・学生の諸活動の支援に関すること ・学術研究に関すること ・地域貢献に関すること ・その他両者が協議して必要と認めること 	
広島東洋カープ	平成 21 年 3 月 10 日	国際学部「企業インターンシップ」に関する覚書	
広島大学	平成 21 年 3 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ・共同の研究プロジェクト ・教職員の交流 ・学生の交流 ・施設の利用 ・その他必要な事項 	
広島大学、 広島工業大学	平成 21 年 9 月 7 日	大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラムの共同実施に関する協定	情報医工学プログラムの共同実施
広島市安佐南区	平成 22 年 9 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの推進 ・教育・文化・スポーツの振興及び健康づくりの推進 ・人材の育成 ・その他両者が協議して必要と認める分野 	
日本アイ・ビー・ エム株式会社東京 基礎研究所、広島 市	平成 22 年 11 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの利活用による障害者及び高齢者の社会参画の促進に関すること ・ICTの利活用による環境負荷軽減対策に関すること ・産学公民が連携した地域のICT人材の育成や産業振興に関すること 	
日本公認会計士協 会中国会	平成 24 年 7 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> ・双方が主催する公開セミナー等への参加 ・本学が開講する会計及び監査関連講座への公認会計士協会の講師派遣 ・定期的な相互情報交換や意見交換 	
広島大学、広島工 業大学、広島国際 大学	平成 24 年 9 月 21 日	大学間連携共同教育推進事業の共同実施に関する協定	臨床情報医工学プログラムの共同実施
長崎大学核兵器廃 絶研究センター	平成 24 年 11 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・核兵器廃絶、核軍縮及び核不拡散に関する情報の調査、収集及び分析 ・核兵器廃絶、核軍縮及び核不拡散に関する研究会、シンポジウム等の実施 ・収集、分析及び蓄積した文献、資料、電子情報等の活用 ・研究者の人的交流 ・その他本協定の目的を達成するために必要な事項 	

機関名	締結年月日	内容	備考
横浜市立大学をはじめ10校	平成26年 4月1日	就職支援パートナーシップ制度における パートナー大学での支援内容 <ul style="list-style-type: none"> ・就職支援 ・就職関連資料の閲覧 ・就職ラウンジの利用 	(協定締結大学、本学を含む 全11校) 横浜市立大学、北九州市立 大学、静岡県立大学、兵庫 県立大学、広島市立大学、 大阪市立大学、福井県立大 学、信州大学、都留文科大 学、国際教養大学、名古屋 市立大学
呉信用金庫	平成26年 11月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済・地域企業の活性化に関する事項 ・中小企業等の新分野進出・新規事業創出の支援に関する事項 ・中小企業等の技術および経営管理の相談や共同事業に関する事項 ・その他前条の目的に沿った諸課題に関する事項 	
広島修道大学商学部	平成27年 3月19日	大学連携による新たな教育プログラム開 発・実施事業	代表校：広島修道大学商学 部 連携校：広島市立大学国際 学部

7 国際交流

(1) 海外学術交流協定校（平成28年4月1日時点）

	国名	締結年月日	主な交流内容
国連平和大学	コスタリカ共和国	平成24年11月6日	教員・学生交流 共同研究等
レンヌ第2大学	フランス共和国	平成23年10月4日	
梨花女子大学校	大韓民国	平成21年3月4日	
国際関係学院	中華人民共和国	平成20年4月4日	
西南大学	中華人民共和国	平成18年11月17日	
ベルリン・バイセンゼー 芸術大学	ドイツ連邦共和国	平成17年12月9日	
アラヌス大学	ドイツ連邦共和国	平成17年10月12日	
西京大学校	大韓民国	平成17年3月15日	
オルレアン大学	フランス共和国	平成15年6月4日	
ハワイ大学マノア校	アメリカ合衆国	平成13年1月11日	
モハメド五世大学	モロッコ王国	平成12年12月12日	
ハノーバー専科大学	ドイツ連邦共和国	平成9年5月30日	
ベルリンフンボルト大学 (学部間協定)	ドイツ連邦共和国	平成25年9月24日	

(2) 学生交流に関する覚書締結校（平成28年4月1日時点）

	国名	締結年月日	主な交流内容
上海大学	中華人民共和国	平成25年2月25日	学生交流

(3) 国際交流事業実績（平成27年度）

事業名	日程	内容	人員等
中国・国際関係学院との 学術交流	学生交換 通年	学術交流協定を締結している国際関係学院との学術交流	学生受入：2名 学生派遣：2名
中国・西南大学との 学術交流	教員派遣平成27年9/5～27 学生交換 通年 学生短期派遣平成27年9/5～27	学術交流協定を締結している西南大学との学術交流	教員派遣：1名 学生受入：2名 学生派遣：4名 (短期2名)
中国・上海大学との学生交流	学生交換 通年	学生交流に関する覚書を締結している上海大学との学術交流	学生受入：2名
韓国・西京大学校との 学術交流	学生交換 通年	学術交流協定を締結している西京大学校との学術交流	学生受入：3名 学生派遣：1名
韓国・梨花女子大学校との 学術交流	学生派遣 通年	学術交流協定を締結している梨花女子大学校との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
ドイツ・ハノーバー専科大学との学術交流	教員受入 平成27年6/10～12 学生交換 通年	学術交流協定を締結しているハノーバー専科大学との学術交流	教員受入：2名 学生受入：4名 学生派遣：10名
ドイツ・ベルリンバイセンゼー芸術大学との学術交流	学生派遣 通年	学術交流協定を締結しているベルリン・バイセンゼー芸術大学との学術交流	学生派遣：2名
ドイツ・アラヌス大学との学術交流	学生交換 通年	学術交流協定を締結しているアラヌス大学との学術交流	学生派遣：2名 学生受入：0名
ドイツ・フンボルト大学との学術交流（学部間）	学生交換 通年	学術交流協定を締結しているフンボルト大学との学術交流	学生派遣：1名 学生受入：0名
フランス・オルレアン大学との学術交流	教員派遣 平成27年9月7日、 平成28年3月10～11日 学生交換 通年	学術交流協定を締結しているオルレアン大学との学術交流	教員派遣：1名 学生派遣：0名 学生受入：0名
フランス・レンヌ第2大学との学術交流	教員派遣 平成27年8月31日、 9月2日、平成28年3月2～3日 学生交換 通年	学術交流協定を締結しているレンヌ第2大学との学術交流	教員派遣：1名 学生派遣：2名 学生受入：2名
アメリカ合衆国・ハワイ大学マノア校との学術交流	教員受入平成27年7/29～8/7 学生交換 通年	学術交流協定を締結しているハワイ大学マノア校との学術交流	教員受入：1名 学生受入：3名 (短期) 学生派遣：3名
夏期集中講座 「ヒロシマと平和 2015」の開催	平成27年7/29～8/7	戦争と平和の本質を理解し、同時にグローバル化の時代における世界平和に関するより現代的な問題を探求することを目的に、国内外の大学生を対象として夏期集中講座を開催した。	国内外（学外）からの受講者16名、 本学学生20名 計 36名
広島平和研究所 (シンポジウムの開催)	平成27年7月20日	「被爆70年ー核兵器廃絶と被爆体験の継承を考える」をテーマに国際シンポジウムを開催し、当研究所の研究成果を市民等に公開した。	約250名 (学内外併せて)